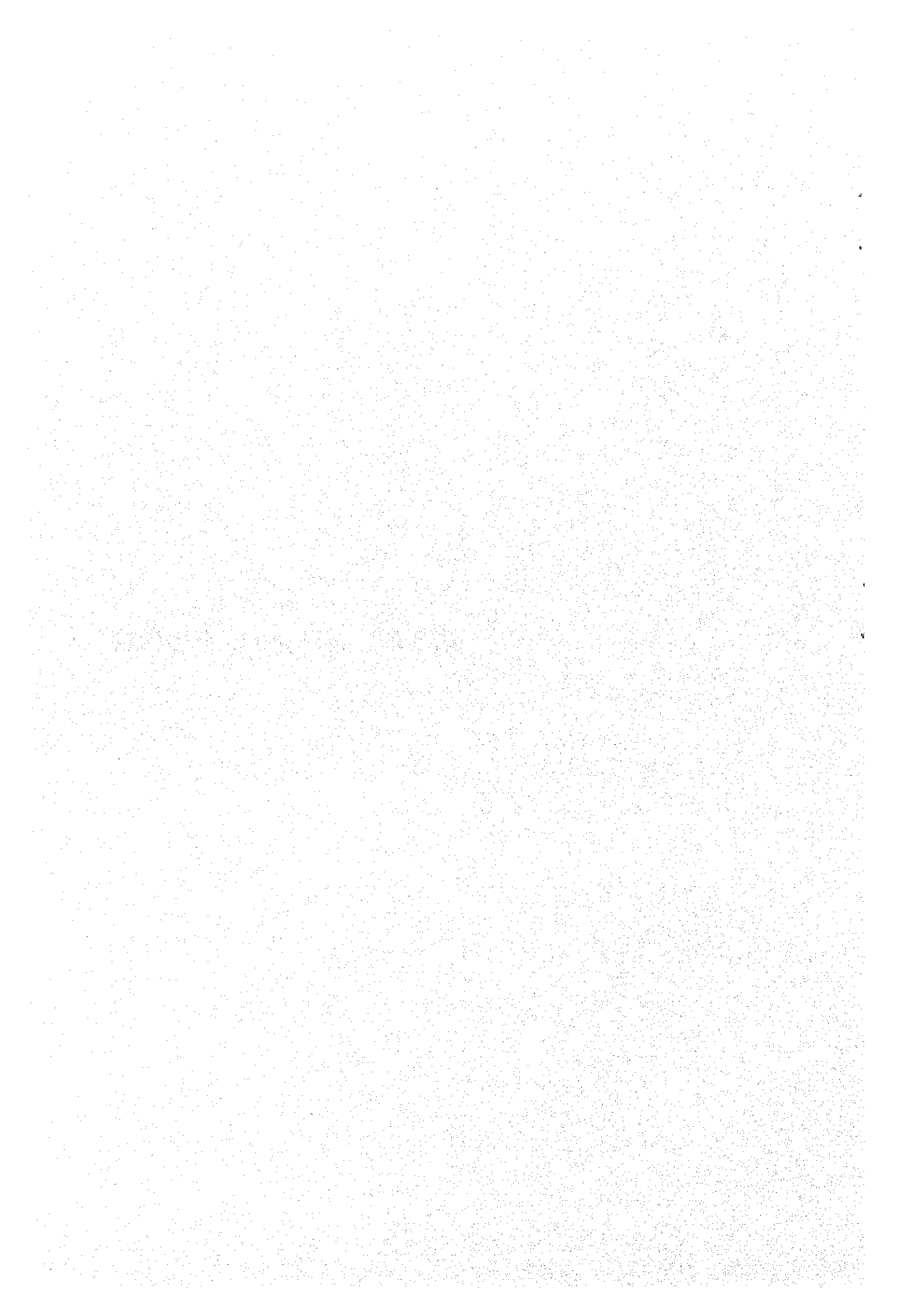


第3章 プロジェクトの内容



第3章 プロジェクトの内容

3-1 プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、「ラ」国の「第4次5ヶ年計画」あるいは「西暦2020年への保健衛生システム構築戦略」などの国家計画を受けて、ヴィエンチャン市のみならず、「ラ」国における中心的な位置づけのなされた医療施設を整備することである。

第一義的には市立の総合病院の立替えであり、ヴィエンチャン市およびその隣接県の地域医療の改善に大きく寄与することが求められている。同時に、「ラ」国の医療制度の階層性によりその下位に当たる地区・村落の医療施設に対する支援機能を持つこと、教育病院として医療従事者の卒前、卒後の教育訓練の場となる位置づけを考慮すると、将来の医療サービスの規範となる施設作りを念頭に置くことが必要であろう。

また、今後経済的な離陸をめざし、市場経済を取り入れながら自立した国づくりを図ろうとする「ラ」国にあって、医療施設に関しても自立的に維持管理可能なものとし、また、そのための管理ノウハウが移転されることが必要である。

このようなプロジェクトの大きな方向付けとともに、総合病院としての基本的な要素を過不足なく設備し、病院内の衛生が確保されるとともに、患者にとっても医療サービス従事者にとっても使いやすく、また、安らぎの感じられる病院を生み出すことを目的とする。

3-2 プロジェクトの基本構想

3-2-1 協力の方針

- ① ラオス全国と首都ヴィエンチャン市の中核病院としての機能に加え、臨床教育病院としての機能をも有していることから、新セタティラート病院でもこれらの機能が最大限に発揮できる計画を策定する。
- ② 現セタティラート病院の施設規模の現状維持を原則として、既存施設・機材の現状を踏まえ、“医療サービス・教育の機関としての機能回復を図る”という目的にかなう規模・内容を策定する。
- ③ 施設計画、機材計画の策定に当たっては、現況の医療従事者数、技術水準、財務的負担能力、消耗品・スペアパーツの入手状況等を考慮し、技術的・財務的自立発展性を確保し、持続可能な計画とする。
- ④ 機材選定について、高度医療を目指すものでなく、ベーシックな内容で現在の水準に妥当な医療水準を求めるものとする。
- ⑤ 省エネルギーに留意するとともに、耐久性、維持管理に配慮した計画とする。
- ⑥ インフラストラクチャー等について必要最小限の整備を行うとともに、安定供給に対しての工夫を行う。
- ⑦ 建築資機材については、現地工法、現地資材を積極的に活用する。
- ⑧ 機材については、現地では本計画内容に該当する医療機器を製造していないため、日本及び第三国からの調達を検討するが、特に維持管理体制が整っているメーカーを優先的に選定する。
- ⑨ 施設及び機材の効果的な運用を図るために、1999年10月開始予定のプロジェクト方式技術協力「セタティラート病院改善プロジェクト」と連携できる内容とする。

3-2-2 要請内容の検討（施設）

(1) 要請の内容

セタティラート病院の外科部門、中央診療部門、病棟部門、研修・管理部門、サービス部門の新築移転に関わる本計画の要請内容として調査団が確認したものは表3-1のとおりである。

表3-1 要請内容

○外来部門		
内科		リハビリテーション
外科		眼科
産婦人科		ENT
小児科		皮膚科、泌尿器科
MCH（母子保健）		救急診察室（診察室、小手術室） 各1室
歯科		救急病室 1室(6ベッド)
○中央診療部門		
薬局（調剤室、薬剤庫）	各1室	暗室 1室
血液検査室		超音波室 1室
生化学検査室		手術室 2室
細菌検査室		分娩室 2室(3ベッド)
病理検査室		陣痛室 1室(4ベッド)
X線室	2室	
○病棟部門		200ベッド
内科病棟		ICU(HCU)大人 12ベッド
外科病棟		術後観察 8ベッド
産婦人科病棟		小児 8ベッド
小児科病棟		新生児 6ベッド
○研修・管理部門		
大講義室	1室(150席)	管理部門
講義室	2室(各40席)	
○サービス部門、他		
中央材料室（洗浄、殺菌、組立）		メンテナンスワークショップ 1室
厨房・職員食堂	各1室	倉庫・洗濯室・霊安室 各1室

現地調査によって変更された計画条件の主たるものに、敷地形状の変更がある。要請書添付の敷地形状は、その部分を含んで大きく拡大されて12haに及び、敷地内の不法占拠者の移転用地と学校移転用地を除いても、約9haが病院敷地として確保されている。この敷地中央部に、前面道路に正対して病院を配置し、外周道路を巡

らせる。この外周道路内を概ね本計画のプロジェクトサイトとする。

さらに「ラ」国側との打合せにおいて、以下の5点について要望が出された。

① 職員子女のための託児所の設置：

現セタティラート病院にその施設があることと、当地の知的労働に従事する女性たちの窮状を考慮した施設

② 伝統療法のためのハーブサウナ室の新設：

国策として伝統医療の進行をはかる「ラ」国のハーブセラピー施設

③ 患者家族用の宿泊施設：

本計画地は市街地から離れているので、市街地、あるいは遠隔地からの患者家族用として宿泊施設

④ CTスキャナー室の設置：

CTスキャナーを設置するための室

⑤ フェンス工事：

現地側工事として区分されているフェンス工事について、本計画に入れるよう要望

(2) 要請内容の検討

1) 診療部門

施設規模設定にあたり、標準的な総合病院に必要な最小限の機能、内容と個々の諸室の規模を念頭におきながら、過去3年間の患者数をもとに2006年時点での患者数を想定し、各診療科目毎の規模を算出した。図3-2に新セタティラート病院における処置件数の予測を示した。過去3年(95年、96年、97年)の診療実績より入院患者数および外来患者数の平均増加率は毎年3.0~3.6%程度である。よって、1997年を基準として、10年後すなわち2006年(開設後約5年)の目標規模を1997年の35%増として設定している。

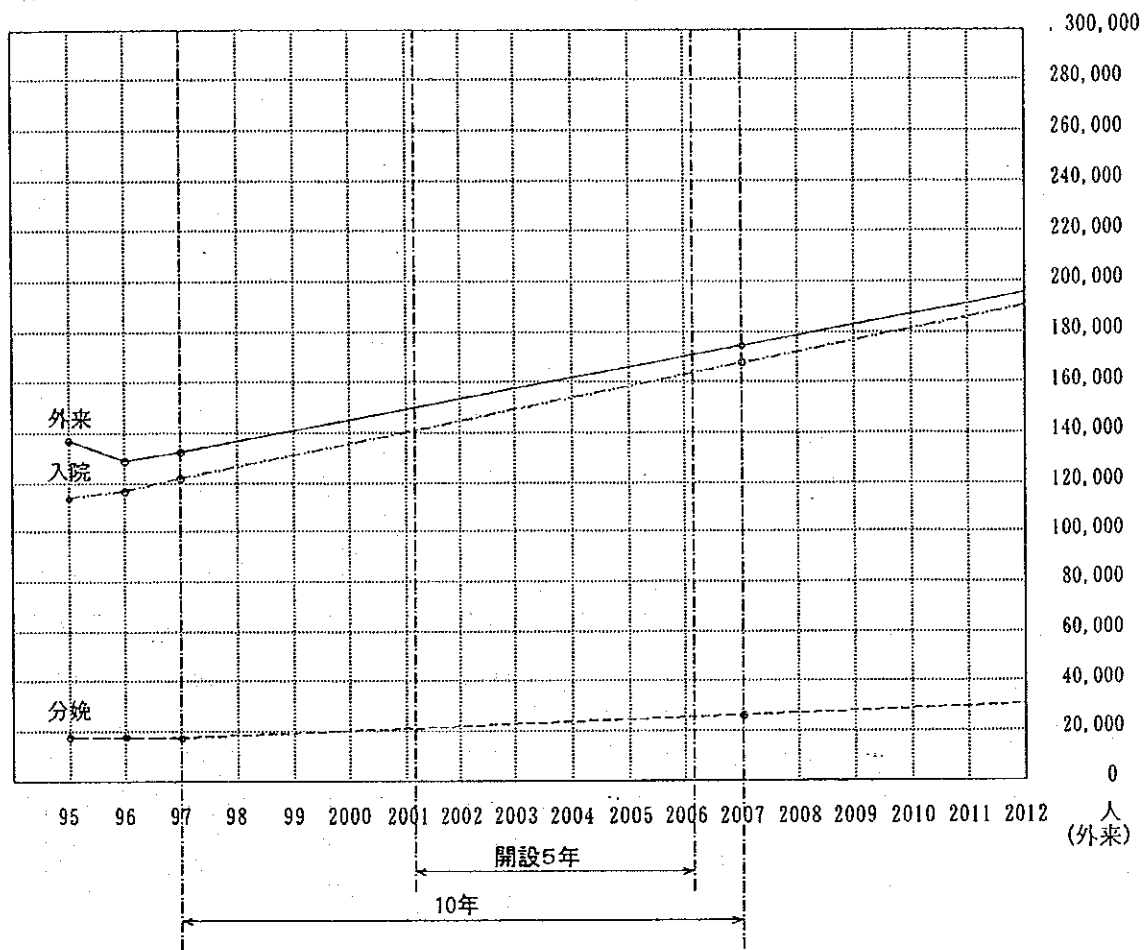


図3-2 新セタティラート病院における処置件数の予測

前述の前提条件により、診療部門の所要室の必要数を算定すると、表3-3のようになる。

表3-3 部屋数算出表(診療部門)

棟	部門	活動内容	1994-1995 患者数	1995-1996 患者数	1996-1997 患者数	2006年患者 数(35%増)	稼働日数 (日/年)
外来	内科	診察	33,145	35,968	40,510	54,689	250
	外科	診察	8,031	8,569	7,752	10,465	250
	小児科	診察	14,255	14,120	14,566	19,664	250
	婦人科	診察	4,620	3,586	3,924	5,297	250
	MCH	産科診察	9,071	13,589	11,820	15,957	250
		産科相談	40,224	24,214	25,152	33,955	250
		産後診察	676	583	295	398	250
		健康児診察	6,119	8,929	7,438	10,041	250
		家族計画(診察)	5,183	4,164	3,119	4,211	250
		家族計画(IUD)	-	159	556	751	250
呼吸器科	皮膚科	診察	1,478	262	148	200	250
		診察	-	460	788	1,064	250
歯科		診察・処置(ユニット2台)	5,726	5,266	4,744	6,404	250
眼科		診察・処置	4,067	4,448	5,197	7,016	250
リハビリ		診察・処置	2,721	2,594	4,759	6,425	250
	ENT	診察・処置	1,647	2,547	2,642	3,567	250
救急		診察(成人)	7,292	7,798	9,586	12,941	365
		診察(小児)	6,261	6,350	7,275	9,821	365
		救急処置数(処置室)	4,210	-	3,208	4,331	365
		救急手術数(小外科室)	4,033	531	2,511	3,390	365
放射線科		超音波検査	1,777	2,738	3,357	4,532	250
		心電図検査	-	841	1,095	1,478	250
		X線検査	5,363	4,385	6,679	9,017	250
臨床検査		患者数	54,073	51,746	62,275	84,071	
手術		大手術	363	298	384	518	250
		一般手術	487	347	414	559	250
ICU 術後観察室		成人	2,190	2,220	1,980	2,673	365
			2,000	2,260	2,043	2,758	365
分娩		分娩	1,491	1,527	1,549	2,091	365
		帝王切開	278	254	189	255	365
ICU NICU		小児	1,070	1,305	1,250	1,688	365
			511	497	505	682	365
入院	内科	既存70床	3,002	3,374	3,769	5,088	365
	外科	既存36床	3,350	3,381	3,257	4,397	365
	産婦人科	既存31床	2,369	2,346	2,413	3,258	365
	小児科	既存29床	2,638	2,583	2,752	3,715	365
		合計	11,359	11,684	12,191	16,458	

診察・処置 時間(分)	1日当り処 置数(人 /8hr.)	必要部屋名	部屋数 (計算値)	部屋数	部屋数計算式
10	48	診察室	4.56	5	患者数/年÷稼働日数÷処置数/日
10	48	診察室	0.87	1	"
		ギブス室		1	"
10	48	診察室	1.64	2	"
10	48	診察室	0.44	1	内診室兼用
合計				10	
10	48	診察室	1.33	2	家族計画(診察)と共用
		内診室		1	家族計画(IUD)と共用
3	160	待合室 ホール	0.85	0	待合室にて対処
10	48	診察室	0.03	0	患者数/年÷稼働日数÷処置数/日
10	48	診察室	0.84	1	"
10	48	診察室	0.35	0	産科診察を兼用
20	24	内診室	0.13	0	産科診察室内診室を兼用
合計				4	
20	24	診察室	0.03	1	院内感染防止のため1室想定
10	48	診察室	0.09	1	現地側要望により1室想定
合計				2	
30	32	診察・処置室	0.80	1	患者数/年÷稼働日数÷処置数/日
		歯科技工室		1	1室にて想定
15	32	診察・処置室	0.88	1	患者数/年÷稼働日数÷処置数/日
		検査室		1	"
20	24	診察・処置室	1.07	1	"
15	32	診察・処置室	0.45	1	患者数/年÷稼働日数÷処置数/日
合計				6	
10	48	診察室	0.74	0	処置室で対応
10	48	診察室	0.56	0	処置室で対応
30	16	処置室	0.74	1	1室(処置台2台)にて対応
10	48	小外科室	0.19	1	患者数/年÷稼働日数÷処置数/日
		救急室		1	1室(7床)で対応
病床数 合計				(7) 3	
20	24	生理検査室	0.76	1	患者数/年÷稼働日数÷患者数/日
10	48		0.12	0	生理検査室に含む(超音波検査と同室)
10	48	放射線検査室	0.75	1	患者数/年÷稼働日数÷患者数/日
合計				2	その他暗室・読影室等必要
		血液検査室		1	検査内容により対応
		生化学検査室		1	"
		細菌検査室		1	"
		病理検査室		1	"
		洗浄室		1	
		暗室		1	蛍光顕微鏡用部屋
合計				6	
180	3	手術室(大)	0.78	1	手術件数/年÷稼働日数÷処置数/日
120	4	手術室(一般)	0.56	1	"
		中央材料室		1	洗浄、滅菌、保管用
合計				3	
平均入院日数				病床数	
2			14.65	(14)	患者数÷365日×滞在日数
1			7.56	(8)	"
60	4	分娩室	1.43	1	手術件数/年÷稼働日数÷分娩数/日
60	4	産婦人科手術室	0.17	1	
		陣痛室(4床)		1	1日当り処置数より4床で対応
		新生児室(6床)		1	1日当り分娩件数より6床で対応
合計				4	
平均入院日数				病床数	
1.5			6.93	(8)	患者数÷365日×滞在日数
3.0			5.60	(6)	"
5.0		病棟1	69.70	70	"
3.5		病棟2	42.16	42	"
3.0		病棟3	26.77	27	"
3.5		病棟4	35.63	36	"
合計病床数				175	ICU、PICU、NICU等のベッドを含む

2) 研修部門

現セタティラート病院において、研修室は非常に有効に使われている。日本の技術協力が新セタティラート病院で本格的に行われると、更に研修、臨床教育も充実するものと思われる。表3-4「臨床教育・研修実績」から、延べ研修は年756回・日となり、1日あたり2回強となる。臨床教育が目的であり、研修、講義は、病院の会議室と講堂（100人収容）を兼用すれば可能である。

表3-4 臨床教育・研修実績

	研修対象	期間	年間コース数	延べ研修（回・日）
スタッフ	1) 医師	2ヶ月	2回	40日×2回＝80回・日
	2) 医師、準医師	1日	40回	1日×40回＝40回・日
	3) 看護婦	2日	2回	2日×2回＝4回・日
	4) 地区病院、保健所、医療スタッフ	3日	4回	3日×4回＝12回・日
	計		48回	136回・日
学生	1) 医学生	3ヶ月	4回	60日×4回＝240回・日
	2) 医学生	4週間	7回	20日×7回＝140回・日
	3) 歯科医学生	4週間	5回	20日×5回＝100回・日
	4) 薬学生	2ヶ月	2回	40日×2回＝80回・日
	5) 助産婦高校生	4週間	3回	20日×3回＝60回・日
	計		21回	620回・日
英会話講習会		3ヶ月	4回	
地区病院会議		1週間	72回	
合 計				756回・日

3) 管理部門・サービス部門

「運営維持管理計画」に要員数が示されているが、現セタティラート病院のスタッフ数は291人である。日本の同規模の病院スタッフ数に比べると、70人程度多いと思われる。このスタッフを有効に配置するには、新セタティラート病院組織図にある新しい部門にシフトする事も考えられる。

厨房の規模については、患者175人、病院職員常時勤務者約210人と仮定し、計約400食分を必要とするが、地元の屋台、自炊など地域的な事情を考慮し、そのうち、300食分に対応する規模とする。また、将来の増床などに備え、拡張のできる構造とする。

食堂については、病院職員約300人のうち休日、夜勤明け等を除き、出勤している職員は210名程度であると考えられるため、そのうち、70%が食堂を利用することを考え、3回転すると想定すると、約50席設置で十分と思われる。しかし、患者家族等の食堂の利用も予想されるため、席数については、食堂の他に、中庭テラス、2階ラウンジ等で柔軟に対応するものとする。

以下、管理・サービス部門に必要な所要室は表3-5のとおりである。

表3-5 管理・サービス部門所要室

所要室	備考
医局関係	医局、当直室
管理諸室	管理部事務室（人事課、技術管理課、経理課） 看護管理課事務室、病歴管理室
ロッカー室	180人分
倉庫、厨房、洗濯室、管理室、守衛室	事務管理課（物品管理、給食、洗濯、運搬、警備）
ワークショップ（メンテナンス、医療機材）	維持管理課（施設、医療機材、清掃）

(3) 検討結果

前述の「要請内容の検討」結果を踏まえ、その枠内に含めることに十分な妥当性があると判断される施設の概要は以下のとおりである。

使用施設の必要諸室、面積を表3-6、表3-7に示す。

表3-6 各部門の必要諸室

外来部門	母子保健科（産科）	診察室×3, 内診室×1	
	小児科	診察室×2	
	内科	診察室×5	
	歯科	処置室×1	
	眼科	処置室×1, 検査室×1	
	耳鼻咽喉科	診察室×1	
	皮膚科	診察室×1	
	リハビリ科	処置室×1	
	呼吸器科	診察室×1	
	婦人科	診察室×1	
	外科	診察室×1, ギプス室×1	
	救急室	救急処置室, 小外科室, 救急室 (7床)	
	中央診療部門	手術部	手術室
回復室			術後観察室 (8床)
ICU			ICU (14床), PICU (8床), NICU (6床)
分娩室			分娩室×1, 産婦人科手術室×1, 陣痛室 (4床), 新生児室 (6床)
CSSD			中央材料室
中央検査部		放射線科	放射線検査室
		臨床検査室	血液検査室, 生化学検査室, 細菌検査室, 病理検査室, 洗浄室, 暗室
薬剤管理部	薬局	薬局, 薬剤庫	
病棟部門	内科病棟	68床	合計 175床
	外科病棟	39床 (救急室, 術後観察室, ICU含む)	
	産婦人科病棟	25床 (陣痛室含む)	
	小児科病棟	43床 (新生児室, PICU, NICU含む)	
管理部門	組織管理部	人事課	管理室, 医事, 病歴室, 事務室×2, 医局, 図書室, 病歴管理室 院長室, 副院長室×2, 託児所 厨房, 食堂, 洗濯室, 倉庫, 守衛室 ワークショップ (メンテナンス, 医療機材)
		技術管理課	
		看護管理課	
研修センター	研修, 教育	講堂 (約100人収容)	

表3-7 計画施設の床面積 (㎡)

	居室面積	外部共用部	合計
PH2F	24.00	—	24.00
PH1F	24.00	—	24.00
2F	2,666.98	511.78	3,178.76
1F	3,440.32	776.31	4,216.63
合計	6,155.30	1,288.09	7,443.39
本体施設			7,443.39
付属施設	守衛室(待合含む)		20.00
	ゴミ焼却施設		36.00
総計			7,499.39
その他	浄化槽・オイルタンク (254.00)		

また、前述の「ラ」国側からの5つの追加要請についての、検討結果は以下のとおり。

① 職員子女のための託児所の設置：

現セタティラート病院に現存し、かつ非常に有効に利用されており、きわめて妥当性が高いと判断される。

② 伝統療法のためのハーブサウナ室の新設：

必要性はあると判断されるが、現セタティラート病院には設備されていない。よって、既存施設内容現状維持の原則から今回計画には含めない方針とする。

③ 患者家族用の宿泊施設：

同様に必要性は十分認められるものの、既存施設内容現状維持の原則から判断して、今回計画には含めない方針とする。但し、増築スペースは敷地内に確保しておく事とする。

④ CTスキャナー室の設置：

今回CTスキャナーは、今回計画には含めないが、将来的に設置可能なようにスペースを確保しておく事とする。

⑤ フェンス工事：

フェンス工事は、無償協力の工事区分の原則では現地側負担となっている。また、「ラ」国側の予算に計上されていることから、今回の計画には含めない方針とする。

3-2-3 要請内容の検討（機材）

（1）要請機材内容問題点及び対策

問題点①：現状施設に対する要請機材と将来計画における要請機材が混在している。

要請機材リストにおける対象部門は、現状施設に対する要請機材と将来計画における要請機材が混在しており、現状組織図における部門名とも、将来計画における部門名とも一致しない内容となっていた。

このため、現地調査においては、まず対象部門を確定するため、将来計画における組織図を提案し、これに現地側からの合意を得た。したがって要請機材は、これら新組織体制における部門を対象とするものとして検討を加えることとした。（図3-24 新セタティラート病院組織図参照）

対処策①：現状組織の再確認及び将来計画との区分を明確にする。

要請内容の混乱を整理するため、現状の病院組織及び各部門の主な機能を再確認した。この結果既存の組織のみならず将来計画の方も、総合病院として必須の部門が重複または欠落していることが判明した。よってこれら現状組織と将来計画を整理した結果、添付資料において「図3-26 現セタティラート病院組織図」と「図3-24 新セタティラート病院組織図」を添付した。

問題点②：各部門間の調整が不備なため、共有可能な機材が重複している。

要請内容は、各部門責任者が作成した要請機材を収集しただけのもので、部門間の調整が全くなされておらず、重複した要請が多々見られた。特に将来計画と既存組織が混乱していたため、内容確認のための作業が難航した。

対処策②：明確化した既存組織及び将来計画の問題点を確認の上内容を再検討する。

既存の組織の再確認、将来計画との区分を明確化した上で、各診療科目ごとに適正な機材計画を策定する。現状では必要性、妥当性に欠ける内容、重複しているもの、配置に疑問のある機材が多いため、これを是正した計画とする。

問題点③：運営維持管理体制、予算に疑問のある高度医療機材が多く含まれている。

放射線部門におけるCTスキャナー、生理検査室における脳波計、内科病棟における内視鏡システム等、既存の施設では技術レベル、人

員、運営予算等が確保されていない高度医療機材が要請されている。

対処策③：既存の運営維持管理体制、予算の範囲で対処可能な機材計画を策定する。

既存の運営維持管理体制もしくは維持管理予算の範囲内で対処可能な機材計画を策定することによって、より実現可能性の高い内容の設計を行う。よって新規に導入を試みる部門に関しては計画内容から除外するし、原則的に既存機材の更新及び数量補填にとどめる計画内容とする。

ただし、既存の運営維持管理体制もしくは予算を若干改善する程度で対処可能なものについては、各品目ごとに必要性、妥当性を検討し、技術協力との関連性も踏まえて設計を行う。

問題点④：医療活動に関連性の低い機材が含まれている。

管理部門におけるピックアップ、ワゴン車、4WD車両、重役用椅子、応接セット等については、医療活動上直接必要となるものではないと考えられる。

対処策④：機材選定の基本原則にそって機材を選定する。

機材選定の基本原則に沿って、ピックアップ車、ワゴン車等の車両、また必要以上の仕様と考えられる什器備品などについてはこれを削除した。また、プロジェクトサイトへの患者搬送用としてのミニバス、救急車等の車両については、病院へのアクセス、救急システム、運営維持管理体制及び予算等を考慮したが妥当性が認められず削除した。

しかし、診察室における診察机、椅子、診察台等は診療活動上必須の機材と考えられるため、機材計画に含める内容とする。

(2) 特筆すべき要請機材

新規に提示された要請機材リストにはCTスキャナー、内視鏡システム、脳波計等、高度医療機材とされる機材が含まれており、これらの機材については以下のような対処方針とした。

① CTスキャナー

現地での疾病構造、技術レベル、運営維持管理体制・予算、メーカー代理店状況等の観点から、妥当性は高くないものと判断し、今回計画対象としないこととしたが、将来設置できるようスペースは確保することとした。

② 車両

ピックアップ、4WD車、ワゴン車、ミニバス、救急車が要請された。救急車以外は直接診療活動とは関連性が薄い。救急車は1989年に我が国からの援助によって調達されたものであるが、機能的に良好な状態を保っている。

救急車の出動回数は1日平均4～5回で、運転手は3名おり、24時間ごとに勤務を交代するシステムになっている。現状では患者の搬送だけでなく、医師の移動にも使用されている。

救急車の要請は既存車両の更新であるが、現状では十分使用可能であること、ヴィエンチャン市内における救急体制が確立されていないこと、患者の搬送以外の目的でも使用していることから、計画機材には含まないものとする。

③ 脳波計

脳波形は小児のてんかんの診断等に有効であるが、現状では病院内に専門的知識を持ったメンテナンス要員がないこと、頻繁に保守点検を必要とするにも拘わらずヴィエンチャン市内にメーカー代理店が存在せず、消耗品、スペアパーツの調達にも問題があること等から、計画機材には含まない方が望ましいと考えられる。

④ 解剖台

既存の施設では解剖用機材および施設等はない。遺体保管室には当初遺体冷蔵庫のみを計画していたが、先方からは「妊婦が死亡した場合、母体と胎児を別々にしないと埋葬できない」等という事情により解剖台が必要であるとの要望が出された。現在でも保管室にて解剖を実施していることもあり、簡易な解剖台、排水溝、水栓等設備計画にて対応することとした。

⑤ その他

機材の選定については、ミニッツにおいて合意を得た機材の選定基準にそって選定を行うが、基本的対処方針として、既存機材の更新、数量の補填などにとどめることを原則とする。

(3) 要請機材の検討

要請機材の検討表を表3-8に示す。

表 3 - 8 要請機材検討表(1)

通し 番号	ユニット 番号	科	機材番号	機材名	数量	ユニット 採用 品目	機材計 画案	基本的 選定 原則	代理店	備考
1	1	生理検査	A-1-1	脳波計、16チャンネル	1	○		2-(1)	*	メンテナンス不能
2	2	生理検査	A-1-2	心電計、3チャンネル	1	○	○	1-(3)	*	
4	4	生理検査	A-1-4	自動動脈計	1	○	○	1-(3)	*	
6	6	生理検査	A-1-6	超音波診断装置(消化器系用)	1	○		AD2-(6)	*	既存で対応
7	7	生理検査	A-1-7	点滴台	2	○		2-(2)		使用頻度低い
8	8	生理検査	A-1-8	診察台	2	○	○	1-(2)	*	
9	9	生理検査	A-1-9	器械台	2	○	○	1-(2)		
10	10	生理検査	A-1-10	器械戸棚	2	○	○	1-(2)		
11	11	生理検査	A-1-11	診察用器具	2	○		2-(2)		器具セットとしてまとめて検討
12	12	生理検査	A-1-12	汚物缶	2	○		AD2-(8)		現地側で対応
13	13	生理検査	A-1-13	診察用照明灯	2	○		2-(2)	*	建築側で対応
14	14	生理検査	A-1-14	椅子	2	○	○	1-(3)		
17	17	生理検査	A-1-17	机(診察用)	2	○	○	1-(3)		
18	18	生理検査	A-1-18	医師用椅子	2	○	○	1-(3)		
20	20	歯科	A-2-1	X線装置パノラマ・セット	1	○		2-(5)	*	歯科用一般X線装置で対応
21	21	歯科	A-2-2	歯科用椅子	2	○	○	1-(3)	*	
22	22	歯科	A-2-3	ラボ用マイクロモータ	1	○	○	1-(3)	*	
23	23	歯科	A-2-4	椅子(手術用)	2	○	○	1-(3)	*	
29	29	歯科	A-2-10	超音波歯石除去装置	1	○		2-(1)	*	使用頻度低い
30	30	歯科	A-2-12	デンタル・ラボ・エンジン	1	○	○	1-(3)	*	
31	30	歯科	A-2-11	油圧フラスコ・プレス	1	○	○	1-(3)	*	
32	32	歯科	A-2-13	歯型トリマー	1	○	○	1-(3)	*	
33	33	歯科	A-2-14	遠心分離機	1	○	○	1-(3)	*	
38	38	歯科	A-2-19	真空ミキシング・マシン	1	○		2-(2)	*	使用頻度低い
39	39	歯科	A-2-20	トリマー	1	○		2-(9)	*	A-2-13と重複
41	41	歯科	A-2-22	診療用移動椅子	2	○		2-(9)	*	A-2-23と重複
43	43	歯科	A-2-24	滅菌機(卓上型)	1	○	○	1-(1)		
44	44	歯科	A-2-25	歯科治療セット	1	○	○	1-(1)	*	
45	45	歯科	A-2-26	ラボ用旋盤(カバーつき)	1	○	○	1-(3)	*	
67	67	歯科	A-2-32	机(診察用)	2	○	○	1-(3)		
68	68	歯科	A-2-33	医師用椅子	2	○	○	1-(3)		
69	69	歯科	A-2-34	保冷庫	1	○		2-(9)		他部門と共有(処置室)
70	70	歯科	A-2-36	パイプレータ	1	○		2-(2)	*	必要性が低い
71	70	歯科	A-2-35	ファーンズ	1	○		2-(9)	*	A-2-14と重複
72	72	歯科	A-2-37	型取り材料ミキサー	1	○		2-(3)	*	使用頻度低い
73	73	歯科	A-2-38	咬合器	1	○		2-(9)	*	器具セットでまとめる
74	74	歯科	A-2-39	フラスコ	5	○		2-(9)	*	A-2-11と重複
75	75	歯科	A-2-40	アマルガム・エンジン	1	○		2-(9)	*	A-2-12と重複
100	ADD	歯科	A-2-65	器具セット(歯科用)	1	○	○	1-(3)		
103	102	眼科	A-3-3	眼科手術台	1	○		2-(5)	*	使用頻度が低い
105	104	眼科	A-3-5	屈折計	1	○		2-(2)	*	使用頻度が低い
106	105	眼科	A-3-6	トライアル・レンズ・セット	1	○	○	1-(3)	*	
124	123	眼科	A-3-12	超低温外科手術装置	1	○		2-(1)	*	使用頻度が低い
125	124	眼科	A-3-13	電気メス	1	○		2-(2)	*	使用頻度が低い
126	125	眼科	A-3-14	メヨ-器具テーブル	1	○		2-(2)		現地側で対応
127	126	眼科	A-3-15	器械台	1	○		2-(2)		現地側で対応
128	127	眼科	A-3-16	ドレッシング・ドラム・セット	1	○		2-(2)		中材部門にまとめる
129	128	眼科	A-3-17	器械戸棚	2	○	○	1-(3)		
130	129	眼科	A-3-18	キック・バケツ	1	○		2-(2)		現地側で対応
132	131	眼科	A-3-20	汚物缶	1	○	○	1-(3)		
133	132	眼科	A-3-21	机(診察用)	1	○	○	1-(3)		
134	133	眼科	A-3-22	医師用椅子	1	○	○	1-(3)		
135	134	眼科	A-3-23	椅子	1	○		2-(9)		患者、医師用と重複
136	135	眼科	A-3-24	椅子(患者用)	3	○	○	1-(3)		
137	136	眼科	A-3-25	椅子(手術用)	1	○		2-(2)	*	使用頻度が低い

表3-8 要請機材検討表(2)

通し 番号	ミニツ 番号	科	機材番号	機材名	数量	ミニツ 採用 品目	機材計 画案	基本的 選定 原則	代理店	備考
139	138	眼科	A-3-27	レンズメーカー	1	○	○	1-(3)	*	
141	140	眼科	A-3-29	間接式双眼鏡	1	○		2-(9)	*	器具セットとしてまとめて検討
142	141	眼科	A-3-30	直接式双眼鏡	3	○		2-(9)	*	器具セットとしてまとめて検討
143	142	眼科	A-3-31	シリジポンプ	1	○		2-(2)	*	必要性に疑問
145	144	眼科	A-3-33	角膜湾曲測定器(Banch and Lomb)	1	○		2-(3)	*	器具セットとしてまとめて検討
146	145	眼科	A-3-34	ゴニオレンズ(コンタクト・レンズ)	1	○		2-(2)	*	器具セットとしてまとめて検討
148	147	眼科	A-3-36	眼圧計	1	○		2-(2)	*	使用頻度が低い
149	ADD	眼科	A-3-37	超音波診断装置(眼科用)	1	○		2-(1)		既存機材で対応
150	ADD	眼科	A-3-38	器具セット	1	○	○	1-(3)		
151	148	耳鼻咽喉科	A-4-1	耳鼻咽喉科治療ユニット(シングル・タイプ)	1	○	○	1-(4)		
152	149	耳鼻咽喉科	A-4-2	耳鼻咽喉科治療椅子	1	○	○	1-(4)		
153	150	耳鼻咽喉科	A-4-3	シャーカステン	1	○	○	1-(3)	*	
154	151	耳鼻咽喉科	A-4-4	器械戸棚	1	○	○	1-(3)		
155	152	耳鼻咽喉科	A-4-5	診断処置器具セット	1	○		2-(9)		器具セットとしてまとめて検討
156	153	耳鼻咽喉科	A-4-6	汚物缶	2	○	○	1-(3)		
158	155	耳鼻咽喉科	A-4-6	聴覚試験防音チャンバー	1	○		2-(1)		使用頻度が低い
159	156	耳鼻咽喉科	A-4-9	聴力計	1	○		2-(2)		器具セットとしてまとめて検討
160	157	耳鼻咽喉科	A-4-10	小児用聴力計	1	○		2-(2)		器具セットとしてまとめて検討
161	158	耳鼻咽喉科	A-4-11	処置台	1	○		2-(5)	*	ユニット構成で対応
162	159	耳鼻咽喉科	A-4-12	超音波ネブライザー	1	○		2-(9)		ユニット構成で対応
163	160	耳鼻咽喉科	A-4-13	吸引器	1	○		2-(9)		診察ユニットの構成に含む
164	161	耳鼻咽喉科	A-4-14	器械台	1	○	○	1-(3)		
165	162	耳鼻咽喉科	A-4-15	机(診察用)	1	○	○	1-(3)		
166	163	耳鼻咽喉科	A-4-16	医師用椅子	1	○	○	1-(3)		
167	164	耳鼻咽喉科	A-4-17	椅子(患者用)	3	○	○	1-(3)		
168	165	耳鼻咽喉科	A-4-18	耳鏡検査器具	1	○		2-(9)		器具セットとしてまとめて検討
169	166	耳鼻咽喉科	A-4-19	電気メス	1	○		2-(9)		手術室で対応
172	169	耳鼻咽喉科	A-4-22	斜視洞スコープ	1	○		2-(3)		器具セットとしてまとめて検討
179	176	耳鼻咽喉科	A-4-29	ヘントウ切除用椅子	1	○		2-(2)		ユニットチェアで対応
180	177	耳鼻咽喉科	A-4-30	ヘッドライト(双眼)	1	○		2-(9)		診察ユニットの構成に含む
182	179	耳鼻咽喉科	A-4-32	耳用顕微鏡	1	○		2-(9)		器具セットとしてまとめて検討
186	ADD	耳鼻咽喉科	A-4-36	器具セット	1	○	○	1-(3)		
193	189	物理療法	A-5-7	平行棒	1	○	○	1-(3)		
198	194	物理療法	A-5-12	車椅子	1	○	○	1-(3)		
201	197	物理療法	A-5-15	マッサージ・ベッド	1	○	○	1-(3)		
202	198	物理療法	A-5-16	オーバーヘッド・フレーム・セット	1	○	○	1-(4)		
205	201	物理療法	A-5-19	自転車運動器	1	○	○	1-(4)		
213	209	呼吸器科	A-6-1	診察台	2	○	○	1-(3)	*	
216	211	物理療法	A-5-29	小型歩行器	1	○	○	1-(6)		
218	213	物理療法	A-5-31	ジジナカ式ゴニオメータ	1	○	○	1-(3)		
224	220	呼吸器科	A-6-3	器械台	1	○	○	1-(3)		
225	220	呼吸器科	A-6-2	シャーカステン	1	○	○	1-(3)	*	
226	222	呼吸器科	A-6-4	器械戸棚	1	○	○	1-(3)		
227	223	呼吸器科	A-6-5	薬品棚	1	○		2-(9)	*	器械戸棚で兼用
228	224	呼吸器科	A-6-6	診察治療器具セット	1	○	○	1-(3)		
229	225	呼吸器科	A-6-7	汚物缶	2	○	○	1-(3)		
230	226	呼吸器科	A-6-8	保冷庫	1	○		2-(9)		他部門と共有(処置室)
231	227	呼吸器科	A-6-9	スポットライト	1	○	○	1-(4)	*	
232	228	呼吸器科	A-6-10	身長体重計	1	○		2-(9)		他部門と共有
233	229	呼吸器科	A-6-11	机(診察用)	1	○	○	1-(3)		
234	230	呼吸器科	A-6-13	椅子(患者用)	2	○	○	1-(3)		
235	230	呼吸器科	A-6-12	医師用椅子	1	○	○	1-(3)		
238	234	呼吸器科	A-6-16	IDRルーム(ベッド)	1	○		2-(9)	*	他部門と共有
239	235	呼吸器科	A-6-17	カップボード	1	○		2-(9)		器械戸棚で兼用
240	236	調剤室	A-7-1	電子分析秤	1	○		2-(9)		部門を薬局に統合

表3-8 要請機材検討表(3)

通し 番号	ミニツ 番号	科	機材番号	機材名	数量	ミニツ 採用 品目	機材計 画案	基本的 選定 原則	代理店	備考
241	237	調剤室	A-7-2	薬品冷蔵庫	2	○		2-(9)		部門を薬局に統合
242	238	調剤室	A-7-3	自動錠剤製造装置	1	○		2-(9)		部門を薬局に統合
243	239	調剤室	A-7-4	薬局設置セット	1	○		2-(9)		部門を薬局に統合
244	240	調剤室	A-7-5	パソコン・セット	1	○		2-(8)		部門を薬局に統合
245	241	調剤室	A-7-6	トローリー	1	○		AD2-(6)		薬局と統合
246	242	調剤室	A-7-7	処方カウンター	2	○		AD2-(6)		部門を薬局に統合
247	243	調剤室	A-7-8	薬品戸棚	2	○		2-(9)	*	部門を薬局に統合
248	244	調剤室	A-7-9	検査カウンター	1	○		AD2-(6)		部門を薬局に統合
249	245	調剤室	A-7-10	麻薬金庫	1	○		AD2-(6)		部門を薬局に統合
250	246	放射線科	A-8-1	超音波診断装置	1	○		2-(1)	*	生理検査室で計画
251	247	放射線科	A-8-2	CTスキャナー	1	○		2-(1)	*	必要性、妥当性に疑問
252	248	放射線科	A-8-3	自動現像機	1	○	○	1-(1)	*	マニュアルタンクで計画
253	249	放射線科	A-8-4	フィルム装填テーブル	1	○	○	1-(1)	*	
254	250	放射線科	A-8-5	カセット・バス・ボックス	2	○	○	1-(1)	*	
255	251	放射線科	A-8-6	シャーカステン	2	○	○	1-(1)	*	
256	252	放射線科	A-8-7	X線アクセサリ・セット	1	○	○	1-(3)	*	
258	254	放射線科	A-8-9	椅子	4	○	○	1-(2)		
259	255	放射線科	A-8-10	机(診察用)	1	○	○	1-(2)		
264	260	放射線科	A-8-15	X線撮影装置(移動型)	2	○		2-(9)	*	一般X線撮影装置で対応
265	261	放射線科	A-8-16	X線透視撮影装置	1	○	○	1-(5)	*	
268	264	婦人科	A-9-1	コルポスコプ	1	○		2-(2)	*	既存で対応
269	265	婦人科	A-9-2	卵管通気装置	1	○		2-(3)	*	使用頻度低いと考えられる
270	266	婦人科	A-9-3	超音波リニア・スキャナー	1	○	○	1-(5)	*	
271	267	婦人科	A-9-4	内診台	2	○	○	1-(1)	*	
273	269	婦人科	A-9-6	超低温手術装置	1	○		2-(1)	*	使用頻度低いと考えられる
274	270	婦人科	A-9-7	シャーカステン	2	○	○	1-(3)	*	
275	271	婦人科	A-9-8	器械台	3	○	○	1-(3)		
276	272	婦人科	A-9-9	器械戸棚	3	○	○	1-(3)		
277	273	婦人科	A-9-10	点滴台	3	○		2-(9)		A-9-4の構成に含む
278	274	婦人科	A-9-11	薬品棚	2	○		2-(9)	*	器械戸棚で兼用
279	275	婦人科	A-9-12	婦人科診察ユニット	2	○	○	1-(3)	*	
281	277	婦人科	A-9-14	ドップラー音波診断器	2	○		2-(2)	*	必要性、妥当性に疑問
282	278	婦人科	A-9-15	スポットライト	2	○	○	1-(3)	*	
283	279	婦人科	A-9-16	踵台	2	○	○	1-(3)		
284	280	婦人科	A-9-17	脱衣籠	5	○	○	1-(3)		
285	281	婦人科	A-9-18	汚物缶	5	○	○	1-(3)		
286	282	婦人科	A-9-19	身長体量計	2	○		2-(9)		診察部門全体で共有
287	283	婦人科	A-9-20	保冷庫	1	○		2-(9)		処置室に配置
289	285	婦人科	A-9-22	机(診察用)	3	○	○	1-(3)		
290	286	婦人科	A-9-23	医師用椅子	3	○	○	1-(3)		
291	287	婦人科	A-9-24	椅子(手術用)	3	○		2-(5)	*	内診台で対応
292	288	婦人科	A-9-25	椅子(患者用)	3	○	○	1-(3)		
307	303	婦人科	A-9-40	ドライヤー・グローブ	1	○		2-(2)		必要性が低い
308	304	婦人科	A-9-41	吸引器	1	○		2-(9)	*	A-9-12の構成に含む
312	306	婦人科	A-9-44	婦人科診察台	3	○	○	1-(6)	*	
313	ADD	婦人科	A-9-45	器具セット	1	○	○	1-(3)		
314	ADD	婦人科	A-9-46	羊眼鏡	1	○		2-(9)		器具セットとしてまとめて検討
315	ADD	婦人科	A-9-47	PHメータ	1	○	○	1-(3)		
317	309	家族計画室	A-10-1	診察台	2	○	○	1-(3)	*	
318	310	家族計画室	A-10-2	机(診察用)	2	○	○	1-(3)		
320	312	家族計画室	A-10-4	器械戸棚	1	○		2-(9)		部門内で共有
321	313	家族計画室	A-10-5	診察器具セット	2	○	○	1-(3)		
322	314	家族計画室	A-10-6	スポットライト	2	○	○	1-(3)	*	
323	315	家族計画室	A-10-7	汚物缶	2	○	○	1-(3)		
324	316	家族計画室	A-10-8	処置台(小児用)	2	○		2-(9)	*	診察台で代用

表3-8 要請機材検討表(4)

通し 番号	ミニツ 番号	科	機材番号	機材名	数量	ミニツ 品目	機材計 画案	基本的 選定 原則	代理店	備考
325	317	家族計画室	A-10-9	自動小児体重身長計	2	○		2-(9)		部門内で共有
326	318	家族計画室	A-10-10	椅子	5	○	○	1-(3)		
329	321	産前治療室	A-10-13-1	診察台	3	○	○	1-(3)	*	
330	322	産前治療室	A-10-13-2	器械戸棚	1	○	○	1-(3)		
331	323	産前治療室	A-10-13-3	ベッド・サイド・テーブル	3	○		2-(2)	*	入院部門にて計画
332	324	産前治療室	A-10-13-4	椅子	3	○	○	1-(3)		
333	325	産前治療室	A-10-13-5	汚物缶	1	○	○	1-(3)		
334	326	産前治療室	A-10-13-6	超音波胎児画像装置	1	○		2-(3)	*	超音波診断装置で対応
335	327	産前治療室	A-10-13-7	手洗台	2	○	○	1-(3)		
338	330	産前治療室	A-10-13-10	体重計	1	○		2-(9)		診察部門全体で共有
339	331	免疫室	A-10-14-1	診察台	2	○	○	1-(3)	*	科目を内科と統合
340	332	免疫室	A-10-14-2	椅子	2	○	○	1-(3)		科目を内科と統合
341	333	免疫室	A-10-14-3	保冷庫	1	○		2-(9)		科目を内科と統合
342	334	免疫室	A-10-14-4	器械戸棚	1	○	○	2-(9)		科目を内科と統合
343	335	免疫室	A-10-14-5	舌圧子	5	○		2-(2)		科目を内科と統合
344	336	免疫室	A-10-14-6	手洗台	1	○	○	1-(3)		科目を内科と統合
345	337	免疫室	A-10-14-7	懐中電灯	2	○	○	1-(5)		科目を内科と統合
348	340	免疫室	A-10-14-10	聴診器	2	○		2-(9)		科目を内科と統合
349	341	産後室	A-10-15-1	ベビーコット	1	○	○	1-(3)	*	ベビーコットで対応
350	342	産後室	A-10-15-2	婦人科診察台	1	○	○	1-(3)	*	
351	343	産後室	A-10-15-3	椅子	1	○	○	1-(3)		
352	344	産後室	A-10-15-4	汚物缶	1	○	○	1-(3)		
353	345	産後室	A-10-15-5	器械戸棚	1	○	○	1-(3)		
354	346	産後室	A-10-15-6	ベッドサイド・テーブル	1	○		2-(2)	*	入院部門にて計画
355	347	産後室	A-10-15-7	スポットライト	1	○	○	1-(4)	*	
356	348	産後室	A-10-15-8	医療(中型)	20	○		2-(9)	*	器具セットにまとめる
357	349	産後室	A-10-15-9	踏台	1	○	○	1-(3)		
358	350	産後室	A-10-15-10	手洗台	1	○	○	1-(3)		
359	351	家族計画室	A-10-16-1	診察台	1	○	○	1-(3)	*	
360	352	家族計画室	A-10-16-2	器械戸棚	1	○	○	1-(3)		
361	353	家族計画室	A-10-16-3	椅子	2	○	○	1-(3)		
362	354	家族計画室	A-10-16-4	小児ベッド	1	○		2-(9)	*	入院部門にて計画
363	355	家族計画室	A-10-16-5	吸入(小児用)	1	○		2-(9)	*	器具セットにまとめる
364	356	家族計画室	A-10-16-6	踏台	1	○	○	1-(3)		診察部門全体で共有
365	357	家族計画室	A-10-16-7	机(診察用)	1	○	○	1-(3)		
368	360	IUD室	A-10-17-2	机(診察用)	1	○	○	1-(3)		診察室で対応
369	360	IUD室	A-10-17-1	内診台	1	○	○	1-(4)	*	
370	362	IUD室	A-10-17-3	椅子	1	○	○	1-(3)		診察室で対応
371	363	IUD室	A-10-17-4	IUDセット	10	○	○	1-(3)		医療も含めてセットにする
372	364	IUD室	A-10-17-5	スポットライト	1	○	○	1-(4)	*	
373	365	IUD室	A-10-17-6	踏台	1	○	○	1-(3)		
374	366	IUD室	A-10-17-7	器械戸棚	2	○	○	1-(3)		
375	367	IUD室	A-10-17-8	医療(中型)	10	○		2-(9)	*	IUDセットとまとめる
376	368	IUD室	A-10-17-9	手洗台	1	○	○	1-(3)		
379	371	受付室	A-10-18-1	カウンター・テーブル	1	○		2-(9)		建築側で対応
381	373	受付室	A-10-18-3	プラスチック・ホワイト・ボード	1	○		2-(9)		建築側で対応
382	374	受付室	A-10-18-4	書架棚	2	○		2-(9)		建築側で対応
383	375	受付室	A-10-18-5	汚物缶	1	○	○	1-(3)		建築側で対応、医療機材外
384	376	受付室	A-10-18-6	椅子	3	○	○	1-(3)		建築側で対応、医療機材外
385	377	伝染病隔離室	A-10-19-1	机(診察用)	1	○	○	1-(3)		病室と統合
386	378	伝染病隔離室	A-10-19-2	器械戸棚	1	○		2-(9)		病室と統合
387	379	伝染病隔離室	A-10-19-3	椅子	2	○		2-(9)		病室と統合
388	380	伝染病隔離室	A-10-19-4	汚物缶	1	○		2-(9)		病室と統合
389	381	伝染病隔離室	A-10-19-5	ドレッシングジャー	1	○		2-(2)		内科に統合
390	ADD	伝染病隔離室	A-10-19-8	クローラーボックス	1	○		2-(2)		内科と統合

表 3-8 要請機材検討表(5)

通し 番号	ミニツ 番号	科	機材番号	機材名	数量	ミニツ 採用 品目	機材計 画案	基本的 選定 原則	代理店	備考
392	383	臨床検査室	A-11-1	顕微鏡	10	○	○	1-(3)	*	
393	384	臨床検査室	A-11-2	蛍光顕微鏡	3	○	○	1-(7)	*	
394	385	臨床検査室	A-11-3	電子式電子秤	2	○	○	1-(4)		
395	386	臨床検査室	A-11-4	遠心分離器	2	○	○	1-(3)		
396	387	臨床検査室	A-11-5	冷凍遠心分離器	1	○	○	1-(4)		
397	388	臨床検査室	A-11-6	ヘマトクリット遠心分離器	2	○	○	1-(1)		
398	389	臨床検査室	A-11-7	分光分析計	2	○	○	1-(1)		
399	390	臨床検査室	A-11-8	オートクレーブ	1	○	○	1-(3)		
400	391	臨床検査室	A-11-9	蒸留水製造装置	1	○	○	1-(5)		
401	392	臨床検査室	A-11-10	pHメーター	1	○	○	1-(1)	*	
402	393	臨床検査室	A-11-11	炎光光度計	1	○	○	1-(5)		
403	394	臨床検査室	A-11-12	フラン機	2	○	○	1-(3)		
404	395	臨床検査室	A-11-13	低温インキュベータ	1	○		2-(2)		使用頻度が低い
405	396	臨床検査室	A-11-14	恒温槽	2	○	○	1-(1)		
406	397	臨床検査室	A-11-15	ドライイング・オープン	1	○	○	1-(4)		
407	398	臨床検査室	A-11-16	乾熱滅菌機	1	○	○	1-(4)		
408	399	臨床検査室	A-11-17	自動ホット・エア滅菌装置	1	○		2-(9)		悉熱滅菌機と用途が重複
410	401	臨床検査室	A-11-19	スライド・フロキュレーション・テスト	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
411	402	臨床検査室	A-11-20	コロニー・アナライザー・システム	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
412	403	臨床検査室	A-11-21	フリーザー(-40)	1	○	○	1-(6)		
413	404	臨床検査室	A-11-22	クリーン・ベンチ	1	○	○	1-(7)		
414	405	臨床検査室	A-11-23	電磁攪拌機	1	○	○	1-(3)		
415	406	臨床検査室	A-11-24	超音波ピペット洗浄器	2	○	○	1-(3)		
416	407	臨床検査室	A-11-25	超音波洗浄器	1	○		2-(5)		感染症防止の為、滅菌機で対応
417	408	臨床検査室	A-11-26	保冷库	2	○	○	1-(3)		
418	409	臨床検査室	A-11-27	血液保冷库	1	○	○	1-(1)		
419	410	臨床検査室	A-11-28	薬品冷蔵庫	1	○		2-(9)		保冷库で対応
420	411	臨床検査室	A-11-29	グルコース・アナライザー	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
421	412	臨床検査室	A-11-30	自動血球カウンター	1	○	○	1-(1)		
422	413	臨床検査室	A-11-31	コアグロメータ	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
424	415	臨床検査室	A-11-33	マイクロメータ	1	○		2-(2)		使用頻度が低い
425	416	臨床検査室	A-11-34	パラフィン溶解装置	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
426	417	臨床検査室	A-11-35	スライド式加温テーブル	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
427	418	臨床検査室	A-11-36	検査器具、ガラス器具セット	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
428	419	臨床検査室	A-11-37	ロッカー	3	○		2-(9)		建築側で対応
429	420	臨床検査室	A-11-38	椅子(患者用)	2	○	○	1-(3)		
430	421	臨床検査室	A-11-39	椅子	8	○	○	1-(3)		
432	423	臨床検査室	A-11-41	机(診察用)	2	○		2-(7)		検査台を建築側で検討
436	427	臨床検査室	A-11-45	マイクロピペット	1	○	○	1-(3)		
437	428	臨床検査室	A-11-46	器械戸棚	1	○	○	1-(3)		
438	429	臨床検査室	A-11-47	薬品戸棚	1	○		2-(9)	*	器械戸棚で兼用
439	430	臨床検査室	A-11-48	マイクロメータ	2	○		2-(2)		使用頻度が低い
440	431	臨床検査室	A-11-49	血清ローテータ	1	○	○	1-(3)		
441	432	臨床検査室	A-11-50	ピペット・シェーカー	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
444	435	臨床検査室	A-11-53	クリーン・ベンチ	1	○	○	1-(7)		
445	ADD	臨床検査室	A-11-54	パラフィン振盪機	1	○	○	1-(3)		
446	ADD	臨床検査室	A-11-55	スライドウォーマ	1	○	○	1-(3)		
447	ADD	臨床検査室	A-11-56	病理器具セット	1	○	○	1-(3)		
448	ADD	臨床検査室	A-11-57	血液ガス分析装置	1	○	○	1-(6)		
449	ADD	臨床検査室	A-11-58	電解質分析装置	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
450	436	薬局	A-12-1	調剤カウンター・セット	2	○		2-(9)	*	現地側で対応
451	437	薬局	A-12-2	メッキビン	2	○		AD2-(6)		器具セットでまとめて検討
452	438	薬局	A-12-3	検査カウンター・セット	2	○		2-(9)	*	現地側で対応
453	439	薬局	A-12-4	ワークセット(リハビリ用)	2	○		AD2-(6)		必要性に疑問、リハビリ部門で検討
454	440	薬局	A-12-5	ロータリー薬品瓶ラック・セット	2	○		2-(5)		薬品戸棚で兼用

表3-8 要請機材検討表(6)

通し 番号	エニツツ 番号	科	機材番号	機材名	数量	エニツツ 採用 品目	機材計 画案	基本的 選定 原則	代理店	備考
455	441	薬局	A-12-6	医薬品キャビネット	2	○		2-(9)	*	薬品戸棚で兼用
456	442	薬局	A-12-7	粉薬・錠剤パッケージングマシン・セット	1	○		2-(3)		調剤の必要性は低い
457	443	薬局	A-12-8	クリーン・ベンチ	1	○		2-(9)		必要時、検査部門で対応
458	444	薬局	A-12-9	カウンター秤量セット	1	○		2-(9)		A-12-10で対応
459	445	薬局	A-12-10	調剤秤量セット	1	○	○	1-(3)		
460	446	薬局	A-12-11	医療冷蔵庫セット	1	○	○	1-(3)		
461	447	薬局	A-12-12	医療用フリーザー・セット	1	○		2-(2)		使用頻度が低い
462	448	薬局	A-12-13	麻薬金庫セット	1	○		2-(2)		使用頻度が低い
463	449	薬局	A-12-14	医薬品保管キャビネット	2	○		2-(9)	*	薬品戸棚で兼用
464	450	薬局	A-12-15	薬品検査テーブル・セット	1	○		2-(9)		建築制で対応
465	451	薬局	A-12-16	蒸留装置セット	1	○		2-(9)		検査部門と兼用
466	452	薬局	A-12-17	薬品瓶、300ml, 500 ml	200	○		AD2-(6)		器具セットでまとめて検討
467	453	薬局	A-12-18	測定ビーカー、500 ml, 1,000 mlセット	10	○		AD2-(6)		器具セットでまとめて検討
468	454	薬局	A-12-19	濾過漏斗	5	○		AD2-(6)		器具セットでまとめて検討
469	455	薬局	A-12-20	ガラス漏斗	5	○		AD2-(6)		器具セットでまとめて検討
470	456	薬局	A-12-21	乳鉢、乳棒	5	○		AD2-(6)		器具セットでまとめて検討
471	457	薬局	A-12-22	薬品混合フルイ	2	○		AD2-(6)		器具セットでまとめて検討
472	458	薬局	A-12-23	薬品スプーン並びに軟膏ヘラ	10	○		AD2-(6)		器具セットでまとめて検討
473	459	薬局	A-12-24	薬品戸棚	2	○	○	1-(3)		
474	460	薬局	A-12-25	回転椅子	2	○	○	1-(3)		
475	ADD	薬局	A-12-26	器具セット	1	○		AD2-(6)		現地側で対応
476	461	中村	A-13-1	高圧蒸気滅菌器	2	○	○	1-(5)		
477	462	中村	A-13-2	超音波洗浄器	1	○		2-(5)	*	感染防止の為、滅菌機で対応
478	463	中村	A-13-3	手術用手袋コンディショナー	1	○		2-(5)	*	感染防止の為、ディスプレイで対応
479	464	中村	A-13-4	滅し台	2	○		2-(9)		建築制で対応
480	465	中村	A-13-5	チューブ洗浄器	1	○		2-(5)		検査部門にて検討
481	466	中村	A-13-6	チューブ乾燥器	1	○		2-(5)		検査部門にて検討
482	467	中村	A-13-7	作業台	2	○	○	1-(5)		
483	468	中村	A-13-8	ヒート・シーラー	1	○		2-(2)		使用頻度が低い
484	469	中村	A-13-9	エレクタ・シェルフ	2	○	○	1-(3)		
485	470	中村	A-13-10	包帯類ケース・キャビネット	2	○		AD2-(6)		作業台で兼用
486	471	中村	A-13-11	器械戸棚	3	○		2-(9)		作業台で兼用
487	472	中村	A-13-12	椅子	3	○	○	1-(3)		
488	473	中村	A-13-13	滅菌器具セット	1	○		AD2-(6)		滅菌機の構成に含む
489	474	外科	A-14-1	診断治療台	3	○	○	1-(3)	*	
490	475	外科	A-14-2	シャーカステン	2	○	○	1-(3)	*	
491	476	外科	A-14-3	器械台	4	○		2-(9)		処置室と兼用
492	477	外科	A-14-4	器械戸棚	1	○		2-(9)		処置室と兼用
493	478	外科	A-14-5	薬品戸棚	1	○		2-(9)	*	処置室と兼用
494	479	外科	A-14-6	診断治療器具セット	3	○		2-(9)		器具セットでまとめて検討
495	480	外科	A-14-7	汚物缶	4	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
496	481	外科	A-14-8	保冷庫	1	○		2-(9)		処置室に配置
497	482	外科	A-14-9	スポットライト	2	○		AD2-(6)	*	既存機材の利用或いは現地側で対応
498	483	外科	A-14-10	ブラスター・バンデージ・テーブル	1	○	○	1-(3)		
499	484	外科	A-14-11	石膏器具セット	1	○	○	1-(3)	*	
500	485	外科	A-14-12	ブラスター保管棚	1	○	○	1-(3)		
501	486	外科	A-14-13	踏台	1	○	○	1-(3)		
502	487	外科	A-14-14	机(診察用)	2	○	○	1-(3)		
503	488	外科	A-14-15	医師用椅子	2	○	○	1-(3)		
504	489	外科	A-14-16	椅子(患者用)	3	○	○	1-(3)		
505	490	救急	A-15-1	手術台	2	○		2-(5)	*	ストレッチャーで対応
506	491	救急	A-15-2	非常灯	2	○		2-(9)	*	建築制で対応
507	492	救急	A-15-3	シャーカステン	2	○	○	1-(4)	*	
508	493	救急	A-15-4	除細動機	1	○	○	1-(4)	*	
509	494	救急	A-15-5	輸液ポンプ	2	○	○	1-(6)	*	

表3-8 要請機材検討表(7)

通し番号	ミニツツ番号	科	機材番号	機材名	数量	ミニツツ採用有無	機材計画案	基本的選定原則	代理店	備考
511	498	救急	A-15-7	メヨ-器具台	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
512	497	救急	A-15-8	ドレッシング・ドラム・スタンド	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
513	498	救急	A-15-9	器械台	2	○	○	1-(3)		
514	489	救急	A-15-10	器械戸棚	2	○	○	1-(3)		
515	500	救急	A-15-11	キック・バケツ	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
516	501	救急	A-15-12	点滴台	2	○	○	1-(3)		
517	502	救急	A-15-13	脱衣箱	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
518	503	救急	A-15-14	椅子(手術用)	2	○	○	1-(3)	*	
519	504	救急	A-15-15	ストレッチャー	2	○	○	1-(3)	*	
520	505	救急	A-15-16	滅菌機(卓上型)	2	○	○	1-(4)		
521	506	救急	A-15-17	吸引器	2	○	○	1-(3)		
522	507	救急	A-15-18	酸素吸入装置	2	○	○	1-(4)		手術室で対応
523	506	救急	A-15-19	診察治療器具セット	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
524	509	救急	A-15-20	回診車	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
525	510	救急	A-15-21	超音波ネブライザー	2	○	○	1-(4)	*	
526	511	救急	A-15-22	血液保冷庫	1	○	○	1-(6)		
527	512	救急	A-15-23	診察台	2	○	○	1-(3)	*	
528	513	救急	A-15-24	保冷庫	2	○	○	1-(4)		
529	514	救急	A-15-25	汚物缶	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
530	515	救急	A-15-26	救急カート	1	○		AD2-(6)	*	既存機材の利用或いは現地側で対応
531	518	救急	A-15-27	救急器具セット	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
532	517	救急	A-15-28	外科基本器具セット	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
533	518	救急	A-15-29	流し台(2槽式)	2	○		2-(9)		建築側で対応
534	519	救急	A-15-30	酸素テント	2	○		2-(2)	*	使用環境に適さない
535	520	救急	A-15-31	ベッド(患者用)	2	○	○	1-(5)	*	
537	522	救急	A-15-33	ベッドサイド・キャビネット	2	○		2-(2)	*	必要性が低い
540	525	救急	A-15-36	椅子	2	○	○	1-(3)		
550	535	救急	A-15-46	回転椅子	3	○	○	1-(3)		
551	538	救急	A-15-47	手動蘇生器	3	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
557	542	救急	A-15-53	踏台(2段式)	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
558	543	救急	A-15-54	ドレッシング・ドラム	3	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
560	ADD	救急	A-15-56	器具セット	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
575	545	手術室	B-1-1	ユニバーサル手術台	2	○	○	1-(6)	*	
576	546	手術室	B-1-2	整形外科手術台	1	○		2-(9)	*	汎用手術台で兼用
577	547	手術室	B-1-3	无影灯	3	○	○	1-(6)	*	
578	548	手術室	B-1-4	非常灯	1	○		2-(9)	*	建築側で対応
579	549	手術室	B-1-5	電気メス	3	○	○	1-(7)	*	
580	550	手術室	B-1-6	ベッドサイド・モニター	2	○	○	1-(7)	*	
581	551	手術室	B-1-7	超低温外科手術ユニット	1	○		2-(1)	*	必要性、妥当性に疑問
582	552	手術室	B-1-8	麻酔装置(内蔵ベンチレータつき)	3	○	○	1-(6)	*	
583	553	手術室	B-1-9	人工呼吸器(小児用)	1	○		2-(9)	*	必要時、PICUと兼用
584	554	手術室	B-1-10	電気メス	1	○	○	1-(7)	*	
586	556	手術室	B-1-12	手洗滅菌機	1	○	○	1-(7)		建築側で対応
587	557	手術室	B-1-13	シャーカステン	3	○	○	1-(3)	*	
588	558	手術室	B-1-14	手術用双眼顕微鏡	1	○		2-(2)	*	必要性、妥当性に疑問
589	559	手術室	B-1-15	除細動機	1	○	○	1-(7)	*	
591	561	手術室	B-1-17	輸液ポンプ	3	○	○	1-(4)	*	
592	562	手術室	B-1-18	シリンジポンプ	2	○		2-(9)	*	ICU部門と共有
595	565	手術室	B-1-21	メヨ-器具台	3	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
596	566	手術室	B-1-22	器械台	3	○	○	1-(3)		
597	567	手術室	B-1-23	作業台	3	○	○	1-(3)		器械台で兼用
598	568	手術室	B-1-24	ドレッシング・ドラム・スタンド	3	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
599	569	手術室	B-1-25	器械戸棚	3	○		2-(9)		室外に建築側で対応
600	570	手術室	B-1-26	キック・バケツ	3	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
601	571	手術室	B-1-27	点滴台	3	○	○	1-(3)		

表3-8 要請機材検討表(8)

通し 番号	ミニツ 番号	科	機材番号	機材名	数量	ミニツ 採 目	機材計 画案	基本的 選定 原則	代理店	備考
603	573	手術室	B-1-29	器具トレイ・テーブル	3	○		AD2-(6)		器具セットとしてまとめて検討
604	574	手術室	B-1-30	脱衣箱	3	○		2-(2)		必要性、妥当性に疑問
605	575	手術室	B-1-31	ランドリーカート	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
606	576	手術室	B-1-32	器具入れ	3	○		2-(9)		建築側で対応
608	578	手術室	B-1-34	麻酔技師用椅子	3	○		2-(9)	*	手術用椅子と重複
609	579	手術室	B-1-35	椅子(手術用)	3	○	○	1-(3)	*	
610	580	手術室	B-1-36	ストレッチャー	3	○	○	1-(3)	*	救急部門にて確保
611	581	手術室	B-1-37	回復ベッド	3	○		2-(5)	*	術後観察室にて対応
622	592	手術室	B-1-48	吸引器	3	○	○	1-(5)	*	
623	593	手術室	B-1-49	机(重役用)	2	○		2-(8)		必要性、妥当性に疑問
624	594	手術室	B-1-50	アーム・チェア	2	○		2-(8)		必要性、妥当性に疑問
625	595	手術室	B-1-51	机(診察用)	1	○		2-(8)		必要性、妥当性に疑問
628	596	手術室	B-1-52	椅子	1	○		2-(9)		手術用椅子と重複
627	597	手術室	B-1-53	ロッカー	8	○		2-(9)		建築側で対応
628	598	手術室	B-1-54	キャビネット	2	○		2-(9)		建築側で対応
629	599	手術室	B-1-55	心電図モニター	3	○	○	1-(7)	*	
630	600	手術室	B-1-56	心電計	1	○		2-(9)	*	心電図モニターで兼用
631	601	手術室	B-1-57	喉頭鏡セット(麻酔医師用)	3	○		2-(9)	*	器具セットとしてまとめて検討
632	602	手術室	B-1-58	挿管治療セット	3	○		2-(9)	*	器具セットとしてまとめて検討
633	ADD	手術室	B-1-59	手術用TVモニター	1	○		2-(3)		使用者が限られる為使用頻度低い
634	ADD	手術室	B-1-60	器具セット	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
636	603	外科病棟	B-2-1	ギャッチベット	7	○	○	1-(3)	*	
638	605	外科病棟	B-2-3	ベッドサイド・キャビネット	7	○	○	1-(3)	*	
639	606	外科病棟	B-2-4	ロッカー	7	○		2-(9)		建築側で対応
640	607	外科病棟	B-2-5	ベッドサイド・テーブル	7	○	○	1-(3)	*	
642	609	外科病棟	B-2-7	ベッド(患者用)	48	○	○	1-(3)	*	
644	611	外科病棟	B-2-9	ベッドサイド・キャビネット	48	○	○	1-(3)	*	
646	613	外科病棟	B-2-11	牽引装置セット	5	○		2-(2)	*	処置室にて検討
647	614	外科病棟	B-2-12	酸素装置セット	5	○		2-(9)		処置室にて対応
648	615	外科病棟	B-2-13	処置台	2	○		2-(9)	*	処置室にて対応
649	616	外科病棟	B-2-14	シャークカステン	2	○		2-(9)	*	処置室にて対応
650	617	外科病棟	B-2-15	器械台	4	○		2-(9)		処置室にて対応
651	618	外科病棟	B-2-16	回診車	4	○		AD2-(6)		処置室にて対応
652	619	外科病棟	B-2-17	器械戸棚	3	○		2-(9)		処置室にて対応
653	620	外科病棟	B-2-18	薬品戸棚	2	○		2-(9)	*	処置室にて対応
654	621	外科病棟	B-2-19	診断治療台	2	○		2-(9)		処置室にて対応
655	622	外科病棟	B-2-20	汚物缶	4	○		AD2-(6)		処置室にて対応
656	623	外科病棟	B-2-21	保冷庫	2	○		2-(9)		処置室にて対応
658	625	外科病棟	B-2-23	超音波ネブライザー	2	○		2-(2)	*	病室全体で共有
659	626	外科病棟	B-2-24	ランドリーカート	4	○		AD2-(6)		病室全体で共有
660	627	外科病棟	B-2-25	ランドリーカート	2	○		AD2-(6)		病室全体で共有
662	629	外科病棟	B-2-27	ベッドバンラック	2	○		2-(2)		既存機材で対応
663	630	外科病棟	B-2-28	ストレッチャー	3	○		2-(2)	*	必要時、救急部門と兼用
664	631	外科病棟	B-2-29	車椅子	6	○		2-(2)		既存機材で対応
666	633	外科病棟	B-2-31	点滴台	6	○	○	1-(3)		
667	634	外科病棟	B-2-32	持続吸引装置	2	○		2-(2)	*	必要性、妥当性に疑問
668	635	外科病棟	B-2-33	机(診察用)	1	○		2-(2)		建築側で対応
669	636	外科病棟	B-2-34	医師用椅子	1	○		2-(2)		建築側で対応
671	638	外科病棟	B-2-36	椅子	6	○		2-(9)		建築側で対応
673	640	外科病棟	B-2-38	キャビネット	4	○		2-(9)		建築側で対応
674	641	外科病棟	B-2-39	椅子(患者用)	2	○		2-(9)		建築側で対応
676	643	手術予後	B-3-2	IVハンガー・ユニット	6	○	○	1-(3)		
677	644	手術予後	B-3-3	オーバベッド・テーブル	6	○	○	1-(3)	*	
678	645	手術予後	B-3-4	回診車	2	○		AD2-(6)		ナースステーションに配置
679	646	手術予後	B-3-5	小児用ストレッチャー	1	○		2-(5)	*	ストレッチャーで代用

表3-8 要請機材検討表(9)

通し 番号	ロニップ 番号	科	機材番号	機材名	数量	ロニップ 品目 番号	機材計 画案	基本的 選定 原則	代理店	備考
680	647	手術予後	B-3-6	回復ベッド	0	○	○	1-(5)	*	
681	648	手術予後	B-3-7	リネンカート	1	○		2-(2)		ランドリーカートと兼用
682	649	手術予後	B-3-8	ドレッシング・ドラム	2	○		AD2-(6)		手術室に配置
695	662	手術予後	B-3-21	吸引器	3	○		2-(9)	*	手術室に配置
688	663	手術予後	B-3-22	器械戸棚	1	○		2-(9)		室外に建築側で対応
697	664	手術予後	B-3-23	キック・バケツ	2	○		AD2-(6)		手術室に配置
700	667	手術予後	B-3-26	搬送車	1	○		2-(2)		ストレッチャーと重複
701	668	手術予後	B-3-27	作業台	1	○		AD2-(6)		室外に建築側で対応
703	670	手術予後	B-3-29	器具トレイ	1	○		AD2-(6)		器具セットとしてまとめて検討
706	673	手術予後	B-3-32	図書キャビネット・オフィス	1	○		2-(9)		必要性に疑問
707	674	手術予後	B-3-33	椅子	1	○		AD2-(6)		ナースステーションにて検討
710	677	手術予後	B-3-36	シャーカステン	1	○		2-(9)	*	部門内で共有
713	679	ICU	B-4-1	ICUベッド	16	○	○	1-(5)	*	
714	680	ICU	B-4-2	ベッドサイド・モニター	16	○	○	1-(6)	*	
715	681	ICU	B-4-3	除細動機	2	○	○	1-(9)	*	
716	682	ICU	B-4-4	人工呼吸器	8	○	○	1-(7)	*	
718	684	ICU	B-4-6	心電計、1チャンネル	8	○		2-(9)	*	必要性に疑問
719	685	ICU	B-4-7	診断処置セット	8	○		2-(9)		器具セットとしてまとめて検討
720	686	ICU	B-4-8	酸素テント	2	○		2-(2)	*	使用環境に適さない
721	687	ICU	B-4-9	輸液ポンプ	16	○	○	1-(4)	*	
722	688	ICU	B-4-10	シリンジポンプ	4	○	○	1-(4)	*	
723	689	ICU	B-4-11	シャーカステン	2	○	○	1-(5)	*	部門内で共有
724	690	ICU	B-4-12	器械戸棚	2	○	○	1-(3)		
725	691	ICU	B-4-13	器械台	4	○	○	1-(3)		
726	692	ICU	B-4-14	薬品戸棚	2	○	○	1-(3)	*	
727	693	ICU	B-4-15	汚物缶	4	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
728	694	ICU	B-4-16	超音波ネブライザー	2	○	○	1-(5)	*	
729	695	ICU	B-4-17	持続吸引装置	2	○	○	1-(3)	*	
730	698	ICU	B-4-18	血液保冷庫	2	○	○	1-(5)		
732	698	ICU	B-4-20	器械台	2	○	○	1-(3)		部門内で共有
734	700	ICU	B-4-22	ベッドハンラック	16	○		AD2-(6)		既存機材、又は現地側で対応
735	701	ICU	B-4-23	保冷庫	1	○	○	1-(5)		
736	702	ICU	B-4-24	机(看護婦用)	1	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
737	703	ICU	B-4-25	チャート車	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
738	704	ICU	B-4-26	椅子	4	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
739	705	ICU	B-4-27	ロッカー	1	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
740	706	ICU	B-4-28	滅菌機(桌上型)	1	○	○	1-(5)		
745	711	ICU	B-4-33	ストレッチャー	2	○		2-(2)	*	ストレッチャーと重複
746	712	ICU	B-4-34	蘇生マスク	16	○		2-(3)		手術室に配置
747	713	ICU	B-4-35	酸素マスク	16	○		2-(3)		手術室に配置
748	714	ICU	B-4-36	小児用咽喉鏡セット	2	○		AD2-(6)		器具セットとしてまとめて検討
754	719	産婦人科(3室)	B-5-4	診察台	2	○	○	1-(3)	*	ストレッチャーで対応
755	720	産婦人科(3室)	B-5-5	診察/処置台	3	○		2-(9)	*	ストレッチャーで対応
757	722	産婦人科(3室)	B-5-7	シャーカステン	2	○	○	1-(3)	*	
758	723	産婦人科(3室)	B-5-8	器械台	3	○	○	1-(3)		
759	724	産婦人科(3室)	B-5-9	器械戸棚	3	○	○	1-(3)		
760	725	産婦人科(3室)	B-5-10	点滴台	10	○	○	1-(3)		
761	726	産婦人科(3室)	B-5-11	薬品戸棚	1	○		2-(9)	*	器械戸棚で兼用
763	728	産婦人科(3室)	B-5-13	診断処置器具セット	2	○		AD2-(6)		器具セットとしてまとめて検討
764	729	産婦人科(3室)	B-5-14	ドップラー音波検出器	2	○		2-(3)	*	器具セットとしてまとめて検討
765	730	産婦人科(3室)	B-5-15	診察用照明灯	2	○		2-(9)	*	建築側で対応
766	731	産婦人科(3室)	B-5-16	踏台	2	○	○	1-(3)		処置室に配置、病室全体で共有
767	732	産婦人科(3室)	B-5-17	脱衣箱	5	○	○	AD2-(6)		処置室に配置、病室全体で共有
768	733	産婦人科(3室)	B-5-18	汚物缶	5	○		AD2-(6)		処置室に配置、病室全体で共有
769	734	産婦人科(3室)	B-5-19	身長体重計	2	○		2-(9)		処置室に配置、病室全体で共有

表3-8 要請機材検討表(10)

通し 番号	ミニツ 番号	科	機材番号	機材名	数量	ミニツ 品目	機材計 画案	基本的 選定 原則	代理店	備考
770	735	産婦人科(3室)	B-5-20	保冷庫	1	○		2-(9)		処置室に配置、病室全体で共有
772	737	産婦人科(3室)	B-5-22	机(診察用)	3	○		2-(9)		差置側で対応
773	738	産婦人科(3室)	B-5-23	医師用椅子	3	○		2-(9)		差置側で対応
775	740	産婦人科(3室)	B-5-25	椅子(患者用)	3	○		2-(9)		差置側で対応
776	741	産婦人科(3室)	B-5-26	聴診器	2	○		AD2-(6)		器具セットとしてまとめて検討
790	755	産婦人科病棟	B-6-1	ギャッチベット	5	○	○	1-(5)	*	
792	757	産婦人科病棟	B-6-3	ベッドサイド・キャビネット	5	○	○	1-(3)	*	
793	758	産婦人科病棟	B-6-4	ロッカー	5	○		2-(9)		差置側で対応
794	759	産婦人科病棟	B-6-5	ベッドサイド・テーブル	5	○	○	1-(3)	*	
796	761	産婦人科病棟	B-6-7	ベッド(患者用)	30	○	○	1-(3)	*	
798	763	産婦人科病棟	B-6-9	ベッドサイド・キャビネット	30	○	○	1-(3)	*	
800	765	産婦人科病棟	B-6-11	バスケット・カート	15	○		2-(9)	*	ランドリーカートで代用
803	768	産婦人科病棟	B-6-14	シャーカーテン	2	○		2-(9)	*	診察部門で対応
806	773	産婦人科病棟	B-6-19	脱衣箱	2	○		AD2-(6)		処置室に配置、病室全体で共有
809	774	産婦人科病棟	B-6-20	替換台	3	○	○	1-(3)		
810	775	産婦人科病棟	B-6-21	回診車	1	○		AD2-(6)		処置室に配置、病室全体で共有
811	776	産婦人科病棟	B-6-22	替換戸棚	1	○		2-(9)		処置室に配置、病室全体で共有
812	777	産婦人科病棟	B-6-23	薬品戸棚	1	○		2-(9)	*	替換戸棚で兼用
813	778	産婦人科病棟	B-6-24	診察治療器具セット	2	○		AD2-(6)		器具セットとしてまとめて検討
814	779	産婦人科病棟	B-6-25	汚物缶	1	○		AD2-(6)		処置室に配置、病室全体で共有
815	780	産婦人科病棟	B-6-26	保冷庫	1	○		2-(9)		処置室に配置、病室全体で共有
817	782	産婦人科病棟	B-6-28	超音波ネブライザー	2	○	○	1-(5)	**	
818	783	産婦人科病棟	B-6-29	ランドリーカート	3	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
819	784	産婦人科病棟	B-6-30	リネンカート	1	○		AD2-(6)		ランドリーカートで代用
821	786	産婦人科病棟	B-6-32	ベッドバラック	1	○		2-(2)		現地側で対応
822	787	産婦人科病棟	B-6-33	ストレッチャー	1	○	○	1-(3)	*	
823	788	産婦人科病棟	B-6-34	車椅子	2	○		2-(9)		ストレッチャーで代用
824	789	産婦人科病棟	B-6-35	歩行介助具	4	○		2-(2)		ストレッチャーで代用
825	790	産婦人科病棟	B-6-36	点滴台	5	○	○	1-(3)		
826	791	産婦人科病棟	B-6-37	身長体重計	1	○		2-(9)		処置室に配置、病室全体で共有
827	792	産婦人科病棟	B-6-38	処置台(小児用)	1	○		2-(5)	*	ストレッチャーで代用
828	793	産婦人科病棟	B-6-39	小児用自動体重計	1	○	○	1-(5)		
829	794	産婦人科病棟	B-6-40	持続吸引装置	2	○	○	1-(6)	*	
830	795	産婦人科病棟	B-6-41	酸素装置セット	3	○		2-(2)		使用頻度が低い
833	798	産婦人科病棟	B-6-44	輸液ポンプ	3	○	○	1-(5)	*	
834	799	産婦人科病棟	B-6-45	シリンジポンプ	2	○		2-(9)	*	病室全体で共有
837	802	産婦人科病棟	B-6-48	オムツ減湿ケース	1	○		2-(1)		必要性に疑問、カミで対応
838	803	産婦人科病棟	B-6-49	哺乳ビン減湿装置	1	○		2-(1)		既存の煮沸消毒機で対応
839	804	産婦人科病棟	B-6-50	哺乳ビン・ウオーマー	1	○		2-(2)	*	機曾野機材で対応
840	805	産婦人科病棟	B-6-51	机(診察用)	1	○		AD2-(6)		ナースステーションに差置側で対応
841	806	産婦人科病棟	B-6-52	医師用椅子	1	○		AD2-(6)		ナースステーションに差置側で対応
842	807	産婦人科病棟	B-6-53	机(看護婦用)	1	○		AD2-(6)		ナースステーションに差置側で対応
845	810	産婦人科病棟	B-6-56	キャビネット	4	○		2-(2)		ナースステーションに差置側で対応
846	811	産婦人科病棟	B-6-57	椅子(患者用)	1	○	○	1-(3)		
848	812	分娩室	B-7-1	分娩台	3	○	○	1-(6)	*	
849	813	分娩室	B-7-2	无影灯	3	○		2-(5)	*	无影灯B-7-21で対応
850	ADD	分娩室	B-7-2-1	无影灯(床置型)	1	○	○	1-(5)		
851	814	分娩室	B-7-3	自動酸素発生器	1	○		2-(5)		使用頻度が低い
852	815	分娩室	B-7-4	吸引器	1	○	○	1-(5)	*	
853	816	分娩室	B-7-5	吸引分娩器	1	○	○	1-(5)		
854	817	分娩室	B-7-6	分娩台	5	○	○	1-(6)	*	
855	818	分娩室	B-7-7	ドブラー音波検出器	1	○		2-(3)	*	器具セットとしてまとめて検討
856	819	分娩室	B-7-8	羊膜鏡	1	○		2-(2)	*	器具セットとしてまとめて検討
857	820	分娩室	B-7-9	手洗い滅菌器	1	○	○	1-(7)		差置側で対応
859	822	分娩室	B-7-11	処置台(小児用)	1	○		2-(5)	*	ストレッチャーで代用

表3-8 要請機材検討表(11)

通し 番号	ミニツ 番号	科	機材番号	機材名	数量	ミニツ 採用 品目	機材計 画案	基本的 選定 原則	代理店	備考
860	823	分娩室	B-7-12	小児用自動体重計	1	○	○	1-(3)		
861	824	分娩室	B-7-13	薬品戸棚	1	○		2-(9)	*	替機戸棚で兼用
862	825	分娩室	B-7-14	保冷庫	1	○		2-(9)		ナースステーションに配置
863	826	分娩室	B-7-15	替機戸棚	2	○	○	1-(3)		
864	827	分娩室	B-7-16	点滴台	2	○	○	1-(3)		
865	828	分娩室	B-7-17	ランドリーカート	2	○		AD2-(8)		既存機材の利用或いは現地側で対応
866	829	分娩室	B-7-18	ストレッチャー	2	○	○	1-(5)	*	
867	830	分娩室	B-7-19	机(診察用)	1	○		2-(2)		ナースステーションに建築側で対応
868	831	分娩室	B-7-20	椅子	3	○	○	1-(3)		
869	832	分娩室	B-7-21	ロッカー	2	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
870	833	分娩室	B-7-22	インファントウォーマー	3	○	○	1-(5)	*	
871	834	分娩室	B-7-23	新生児蘇生器	1	○		AD2-(6)	*	既存機材の利用或いは現地側で対応
872	ADD	分娩室	B-7-24	心電図モニター	1	○	○	1-(7)		
876	835	NICU	B-8-1	ギャッチベット	3	○	○	1-(5)	*	
878	837	NICU	B-8-3	ベッドサイド・キャビネット	9	○		2-(2)	*	必要性が低い
879	838	NICU	B-8-4	ロッカー	9	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
880	839	NICU	B-8-5	ベッドサイド・テーブル	3	○		2-(2)	*	必要性が低い
882	841	NICU	B-8-7	小児用ベッド	6	○	○	1-(5)	*	
884	843	NICU	B-8-9	オーバベッド・テーブル	30	○	○	1-(3)	*	
885	844	NICU	B-8-10	小児用ベッド	24	○	○	1-(5)	*	
887	846	NICU	B-8-12	ベッド(患者用)	12	○	○	1-(3)	*	
889	848	NICU	B-8-14	ベッドサイド・キャビネット	36	○		2-(2)	+	必要性が低い
891	850	NICU	B-8-16	処置台	2	○	○	1-(3)	*	
892	851	NICU	B-8-17	シャークカステン	1	○	○	1-(3)	*	
893	852	NICU	B-8-18	替機台	2	○	○	1-(3)		
894	853	NICU	B-8-19	回診車	3	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
895	854	NICU	B-8-20	替機戸棚	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
896	855	NICU	B-8-21	薬品戸棚	1	○		AD2-(6)	*	既存機材の利用或いは現地側で対応
897	856	NICU	B-8-22	診察治療器具セット	1	○		AD2-(6)		器具セットとしてまとめて検討
898	857	NICU	B-8-23	汚物缶	6	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
899	858	NICU	B-8-24	保冷庫	1	○	○	1-(5)		
901	860	NICU	B-8-26	超音波ブライザー	2	○	○	1-(5)	*	
902	861	NICU	B-8-27	ランドリーカート	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
903	862	NICU	B-8-28	リネンカート	1	○		AD2-(6)		ランドリーカートで代用
905	864	NICU	B-8-30	ベッドハンラック	2	○		2-(2)		必要性が低い
906	865	NICU	B-8-31	ストレッチャー	2	○		2-(9)	*	ストレッチャーで代用
907	866	NICU	B-8-32	車椅子	3	○		2-(9)		保育器、ストレッチャーで対応
908	867	NICU	B-8-33	歩行介助具	3	○		2-(9)		保育器、ストレッチャーで対応
909	868	NICU	B-8-34	点滴台	5	○	○	1-(3)		
910	869	NICU	B-8-35	身長体重計	1	○		2-(9)		部門内で共有
911	870	NICU	B-8-36	処置台(小児用)	1	○		2-(9)	*	診察台で対応
912	871	NICU	B-8-37	小児用自動体重計	1	○		2-(9)		部門内で共有
913	872	NICU	B-8-38	机(診察用)	2	○		2-(2)		ナースステーションに建築側で対応
914	873	NICU	B-8-39	医師用椅子	2	○		2-(2)		ナースステーションに建築側で対応
915	874	NICU	B-8-40	机(看護婦用)	2	○		2-(2)		ナースステーションに建築側で対応
916	875	NICU	B-8-41	椅子	12	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
918	877	NICU	B-8-43	キャビネット	4	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
919	878	NICU	B-8-44	椅子(患者用)	10	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
920	879	NICU	B-8-45	吸引器	2	○	○	1-(5)	*	
921	880	NICU	B-8-46	モニタリング	2	○	○	1-(7)	*	
922	881	NICU	B-8-47	シリンジポンプ	2	○	○	1-(5)	*	
923	882	NICU	B-8-48	インファントウォーマー	2	○		2-(9)	*	産科と共有
924	883	NICU	B-8-49	新生児用ベンチレーター	2	○	○	1-(6)	*	
925	884	NICU	B-8-50	輸液ポンプ	3	○	○	1-(5)	*	
926	885	NICU	B-8-51	小児用咽喉鏡	2	○		AD2-(6)	*	器具セットとしてまとめて検討

表3-8 要請機材検討表(12)

通し 番号	ミニツ 番号	科	機材番号	機材名	数量	ミニツ 採用 可否	機材計 画表	基本的 選定 原則	代理店	備考
927	886	NICU	B-8-52	小児用蘇生器	2	○		AD2-(6)	*	既存機材の利用或いは現地側で対応
929	888	NICU	B-8-54	小児用耳鏡	2	○		AD2-(6)		器具セットとしてまとめて検討
930	ADD	NICU	B-8-55	ベビーコット	6	○	○	1-(3)		
931	ADD	NICU	B-8-57	保育器	6	○	○	1-(8)		
932	ADD	NICU	B-8-58	器具セット	1	○		AD2-(8)		既存機材の利用或いは現地側で対応
933	ADD	NICU	B-8-59	光線治療器	2	○	○	1-(5)		
934	ADD	NICU	B-8-60	パルスオキシメータ	1	○		2-(2)		心電図モニターで代用
935	889	内科病棟	B-9-1	ギャッチベット	11	○	○	1-(5)	*	
945	891	内科病棟	B-9-3	ベッドサイド・キャビネット	11	○		1-(3)	*	
948	892	内科病棟	B-9-4	ロッカー	11	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
947	893	内科病棟	B-9-5	ベッドサイド・テーブル	11	○	○	1-(3)	*	
949	895	内科病棟	B-9-7	ベッド(患者用)	54	○	○	1-(3)	*	
951	897	内科病棟	B-9-9	ベッドサイド・キャビネット	54	○	○	1-(3)	*	
953	899	内科病棟	B-9-11	赤外線ランプ	1	○		2-(2)		必要性に疑問
954	900	内科病棟	B-9-12	紫外線ランプ	1	○		2-(2)		必要性に疑問
955	901	内科病棟	B-9-13	処置台	2	○	○	1-(3)	*	
956	902	内科病棟	B-9-14	シャカステン	2	○	○	1-(3)	*	
957	903	内科病棟	B-9-15	器械台	3	○		2-(9)		処置室に配置、病室全体で共有
958	904	内科病棟	B-9-16	回診車	4	○		AD2-(8)		処置室に配置、病室全体で共有
959	905	内科病棟	B-9-17	器械戸棚	2	○		2-(9)		処置室に配置、病室全体で共有
960	906	内科病棟	B-9-18	薬品戸棚	2	○		2-(9)	*	器械戸棚と兼用
961	907	内科病棟	B-9-19	診察治療器具セット	2	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
962	908	内科病棟	B-9-20	汚物缶	4	○		AD2-(8)		既存機材の利用或いは現地側で対応
963	909	内科病棟	B-9-21	保冷庫	2	○		2-(9)		処置室に配置、病室全体で共有
965	911	内科病棟	B-9-23	超音波ブライザー	4	○		2-(9)	*	部門内で共有
966	912	内科病棟	B-9-24	ランドリーカート	4	○		AD2-(8)		既存機材の利用或いは現地側で対応
967	913	内科病棟	B-9-25	リネンカート	2	○		2-(2)		ランドリーカートで代用
969	915	内科病棟	B-9-27	ベッドパンラック	2	○		2-(2)		使用頻度が低い
970	916	内科病棟	B-9-28	点滴台	5	○	○	1-(3)		
971	917	内科病棟	B-9-29	身長体重計	1	○		2-(9)		部門内で共有
972	918	内科病棟	B-9-30	持続吸引装置	3	○		2-(2)	*	使用頻度が低い
973	919	内科病棟	B-9-31	酸素装置セット	5	○		2-(2)		使用頻度が低い
974	920	内科病棟	B-9-32	机(診察用)	2	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
975	921	内科病棟	B-9-33	医師用椅子	2	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
976	922	内科病棟	B-9-34	机(看護婦用)	1	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
977	923	内科病棟	B-9-35	椅子	8	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
979	925	内科病棟	B-9-37	キャビネット	4	○		2-(9)		ナースステーションに建築側で対応
980	926	内科病棟	B-9-38	椅子(患者用)	2	○	○	1-(3)		
997	944	重安(2室)	B-10-1	遗体冷蔵庫、4体	1	○	○	1-(5)	*	
998	945	重安(2室)	B-10-2	推運搬車	1	○		2-(2)	*	ストレッチャーで代用
999	946	重安(2室)	B-10-3	担架式体重計	1	○		2-(2)	*	一般体重計で兼用
1000	947	重安(2室)	B-10-4	薬品戸棚	1	○		2-(2)		解剖台数が少ないため必要性が低い
1001	948	重安(2室)	B-10-5	カート	1	○		2-(9)		ストレッチャーで代用
1005	ADD	重安(2室)	B-10-9	解剖台	1	○		2-(2)		使用頻度が低い
1006	ADD	重安(2室)	B-10-10	器具セット(解剖用)	1	○		AD2-(6)		使用頻度が低い
1008	953	理事長	C-1-2	机(重役用)	3	○		2-(8)		建築側で対応
1009	954	理事長	C-1-3	椅子(肘付、重役用)	3	○		2-(8)		建築側で対応
1011	956	理事長	C-1-5	コンピュータ+プリンター	3	○		2-(2)		必要性、真似性に疑問
1012	957	理事長	C-1-6	書棚	3	○		2-(8)		建築側で対応
1015	960	人事部(1室)	C-2-1	机(診察用)	3	○		2-(9)		一般机を建築側で検討
1016	961	人事部(1室)	C-2-2	椅子(肘付、重役用)	3	○		2-(8)		建築側で対応
1018	963	人事部(1室)	C-2-4	コンピュータ+プリンター	1	○		2-(2)		現地側で対応
1019	964	人事部(1室)	C-2-5	書棚	1	○		2-(8)		建築側で対応
1022	967	技術管理(1室)	C-3-1	机(診察用)	5	○		2-(8)		建築側で対応
1023	968	技術管理(1室)	C-3-2	椅子(肘付、重役用)	5	○		2-(8)		建築側で対応

表3-8 要請機材検討表(13)

通し番号	ミニツプ番号	科	機材番号	機材名	数量	ミニツプ採用 ▲目	機材計画案	基本的 選定 原則	代理店	備考
1025	970	技術管理(1室)	C-3-4	コンピュータ	3	○		2-(2)		必要性に疑問、使用頻度が低い
1028	971	技術管理(1室)	C-3-5	プリンター 1170	3	○		2-(2)		必要性に疑問
1027	972	技術管理(1室)	C-3-6	統計資料機	3	○		AD2-(6)		必要性に疑問、使用頻度が低い
1031	976	技術管理(1室)	C-3-10	オーバヘッド・プロジェクター・セット	1	○		AD2-(6)		必要性に疑問、使用頻度が低い
1032	977	技術管理(1室)	C-3-11	複写機セット	2	○		2-(2)		必要性に疑問、使用頻度が低い
1033	978	看護婦事務所(1室)	C-4-1	引出し付きデスク	3	○		2-(9)		建築側で対応
1034	979	看護婦事務所(1室)	C-4-2	椅子(肘付、重役用)	3	○		2-(8)		建築側で対応
1039	984	総務(1室)	C-5-1	引出し付きデスク	2	○		2-(9)		建築側で対応
1040	985	総務(1室)	C-5-2	椅子(肘付、重役用)	2	○		2-(8)		建築側で対応
1047	992	ワークショップ(1室)	D-2	絶縁テスタ	10	○		AD2-(3)		メンテナンスセットとしてまとめて検討
1049	994	ワークショップ(1室)	D-4	ICテスター(アナログ)	3	○		AD2-(3)		メンテナンスセットとしてまとめて検討
1050	995	ワークショップ(1室)	D-5	ICテスター(デジタル)	3	○		AD2-(3)		メンテナンスセットとしてまとめて検討
1052	997	ワークショップ(1室)	D-7	クランプメータ	3	○		AD2-(3)		メンテナンスセットとしてまとめて検討
1053	998	ワークショップ(1室)	D-8	保管棚	3	○		2-(8)		建築側で対応
1055	1000	ワークショップ(1室)	D-10	ECGシミュレータ	5	○		AD2-(3)		メンテナンスセットとしてまとめて検討
1061	1006	ワークショップ(1室)	D-16	メンテナンス工具セット	1	○		AD2-(6)		既存機材の利用或いは現地側で対応
1064	1009	搬送	E-3.1	ミニバス、12シート	1	○		AD2-(4)		必要性、妥当性に疑問
1068	1011	搬送	E-5.1	救急車	1	○		AD2-(4)		必要性、妥当性に疑問

【基本的優先原則・削除原則】

1. 優先原則

- (1) 老朽化した機材の更新となる機材
- (2) 数量が明らかに不足している機材の補充となる機材
- (3) 病院として基本的な診療に不可欠な機材
- (4) 運営・維持管理が容易な機材
- (5) 裨益効果が多く見込まれる機材
- (6) 費用対効果が多く見込まれる機材
- (7) 医学的有用性が確立している機材

2. 削除原則

- (1) 高額な維持管理費を要する機材
- (2) 裨益効果が限られる機材
- (3) 費用対効果が小さい機材
- (4) 診療ではなく学術的な研究目的の機材
- (5) より簡便な代替機材の存在する機材
- (6) 廃棄物等にて環境汚染が懸念される機材
- (7) 医学的有用性が確立していない機材
- (8) 病院関係者の個人的な使用目的(医療行為以外)の機材
- (9) 最低限必要な台数以上の機材(非効率、重複する機材)

【現地条件により加味すべき追加原則】

1. 優先原則

- (1) 対象病院の既存技術レベルで適応が可能な機材
- (2) 対象病院に維持管理要員(外部委託を含め)が確保されているか、確保できる見通しがある機材
- (3) 対象病院の社会的位置付け(レファレル体制、現地ニーズ)に合致する機材
- (4) 他ドナーとの連携が期待できる機材

2. 削除原則

- (1) 現地ではスペアパーツ、消耗品の入手が困難な機材
- (2) 対象病院の既存技術レベルでは運用不可能な機材
- (3) 対象病院に維持管理要員(外部委託を含め)が確保出来ない機材
- (4) 対象病院の社会的位置付け(レファレル体制、現地ニーズ)に不的確な機材
- (5) 設置の為に大幅なインフラ整備(水、電気、排水処理他)を必要とする機材
- (6) 現有の機材の効率的な使用方法で対応できる機材

【国際的な基準がある場合の原則】

放射線機器等WHOによる基準があるものは個別に適用する。

3-3 基本設計

3-3-1 設計方針

(1) 施設

1) 施設設計の基本方針

施設設計に係わる基本方針について以下に述べる。

① 現状と近い将来を見据えた施設設計：

現状の規模、内容に基づきながら問題点を克服し、医療従事者と管理者のレベルに見合った設計を行う。

② 耐久性と維持管理に配慮した設計：

建築材料の選定と設計に当たっては、耐久性のある材料でかつ現地で入手可能な材料で構成し、将来の現地側のメンテナンスを容易にするよう配慮する。

③ 現地の建築工法・材料の活用：

「ラ」国の伝統様式を取り入れ、現地で一般的な材料を使用して建設コストの削減を図る。

④ 周辺地域の治安状況に準ずるセキュリティー対策

人・物の出入り口を限定し、安全管理の容易な計画とする。

2) 自然条件に対する方針

① 敷地

敷地はヴィエンチャン市郊外の台地状の地形に位置し、2 辺が道路に接している。雨季の集中的な降雨に対応できるよう、建設計画部分は盛土し、敷地内の雨水処理計画を取り入れた計画とする。また、敷地内には森が存在し、可能な限り、樹木を残す計画とする。

② 風

ヴィエンチャン市内には年間を通して卓越風（南、北風）が多く、雨季には雨を伴う南からの強い風がふく。施設はこの卓越風を利用した、自然換気等通風のよい計画とする。

③ 雨

ヴィエンチャン市は5月～9月が雨季となる。年間降水量は2,019mm程度であり、雨季には1,600mm程度の降雨があるため、居室や廊下の開口部には雨の吹き込みを防止するため、ルーバーや庇を設ける。また、屋根及び敷地内の排水処理は十分な排水能力を見込んだ計画とする。

④ 日射

ヴィエンチャン市は北緯17.5度に位置し、主に南側からの日射を受ける。夏の日射しは強く、屋上の断熱性能を向上させるとともに開口部まわりには、南北ともルーバー、庇等を設け、日射の直接的な影響を低減させる。

⑤ 気候

ヴィエンチャン市の年間を通じた月平均気温は 26.5℃で、1日の最低気温の平均でも 21.8℃である。空調設備に頼らず快適な居室空間を確保するためには、通風が十分可能な平面・断面計画が必要となる。

3) 社会条件に対する方針

本計画病院はヴィエンチャン市において中核病院としての機能に加え、教育・研修機能も備えた病院であり、それぞれの機能が十分に発揮できうる計画とする。また、患者に付き添う家族が多いのも社会的な特徴であるので、待合ホールなどは若干大きく計画する。さらに、診察ゾーンには、患者のみを入れるよう、外来者を適切にコントロールできる計画とする。

4) 建設事情に対する方針

「ラ」国建築法規によると壁面後退が規定されており、これを遵守する。また、この地区は住居地域であり、外観の規制については、伝統的な傾斜屋根を遵守することが義務づけられている。他、規制については、日本の法規を参考にするものとする。建築確認については、村役場から区役所を経て、市の建築当局に持ち込み、申請する。所要日数は村役場で1時間、区役所で2~3日、市当局で45日(2週間に短縮可能)、村役場、区役所では図面を受け取るのみで、審査は市で行う。

5) 現地業者・現地資機材の活用についての方針

建設資材については完成後の維持管理を考慮して、現地工法、現地資材の活用を図る。ただし、現地で調達できないものは日本、隣国タイから調達する。医療機材については、大部分が現地調達が困難であり、日本からの輸入とする。なお、建設資材及び医療機材は「ラ」国内もしくはタイに代理店があり、維持管理体制の整っている資機材を選定する。

6) 実施機関の維持、管理能力に対する方針

維持管理費の低減という考え方では、自然通風による換気を行い、機械設備に頼らない方式が望まれる。本施設では「ラ」国での現状を踏まえて、手術、分娩部門、検査室、病室(ICU、PICU、NICU、術後観察室、個室)、講堂(100人)、会議室等では冷房設備を設置する計画とするが、共用部分については自然通風による換気方式を採用し、電気代等の維持費の低減を図る計画とする。また、内装材・外装材については耐久性・耐候性のあるものを使用し、維持費の低減を図る。

(2) 機材

1) 新組織内容に適合した機材計画策定

現状の病院組織は、外来部門、入院部門の各セクションが分散独立する傾向が強く、組織体制も非効率的な部分が多い。したがって、今後は現地調査時に合意を得た新組織図を前提とした機材計画を策定する。

提案された新組織図は、実際には現状の組織を大幅に変革するものではなく、一部の非効率的な部分を修正した程度のもので、また同規模の総合病院として通常採用されている組織体制であるため、新たな人員の増加や、予算増加等を必要としない、より実現可能性の高い組織構成となっている。よって機材計画は、同新組織図における部門を対象として策定する。具体的には以下のような部門がある。

a. 外来

各科診察室においては診察に必要な最低限の機材として、診察机、椅子（医師用）、シャーカステン、診察台等を配置する。共有化、集中化を図るため、処置室は各科共有とし、診察台（処置台兼用）、器械戸棚、器械台等を配置する。

婦人科については診察室と内診室を兼用とし、これを処置室としても使用することを前提に機材を計画する。MCH（母子保健科）にはIUD室及び処置室が必要であるが、これも共有化して1室とし、内診台、器械戸棚、器械台等を配置する。また、MCH診察室には超音波診断装置を1台配置し、婦人科と共同利用可能となるよう計画する。

歯科、眼科、耳鼻咽喉科については、それぞれの科に専用の機材が必要であるため、歯科には歯科ユニット、眼科では既存のスリットランプ、耳鼻咽喉科にはENT用診察ユニット、呼吸器科にはスパイロメータ等を配置する計画とする。

救急外来については診察室及び処置室兼用の部屋として救急処置室を2室設置し、処置台の代わりにストレッチャーを配置する。また緊急手術用に小外科室があるため、そこには手術台、无影灯、麻酔器等の手術用機器を配置する。また救急病室には7台の患者ベッドを配置する計画である。

b. 中央診療部門

手術室は2室設置される計画であるため、それぞれの部屋に手術台、无影灯、電気メス、麻酔器等の手術機器を配置する。術後観察室は回復室と兼用とし、患者ベッドを8台配置する。

ICU（成人用）は14台のICUベッドを配置し、患者監視装置、人工呼吸器等を配置する計画である。ICU（小児用）は名称をPICUとし、ICUベッド、患者監視装置を配置する。

NICUには保育器、光線治療器、小児用人工呼吸器等を配置する。ただし、ICU（成人用）、PICU、NICUを看護するためのナースステーションは共有化、集中化を図れるよう1室とした。

分娩室は2室とし、1室は正常分娩用として分娩台、无影灯（床置型）、器械台等を配置する。もう1室は異常分娩用の部屋とし、无影灯（天吊型）、麻酔器、電気メス等を配置する。

c. 中央検査部

放射線科では、既存の一般X線撮影装置が使用可能であるため、これを現セタティラート病院から新セタティラート病院に移設する計画とする。ただし、一般撮影装置のみでは検査内容、部位等が著しく制限されるため、本計画では透視撮影装置を1台配置する計画である。ただし、メンテナンスを容易にし、運営維持費の軽減を図るため、遠隔操作型ではなく、近接操作型の装置を採用する。

また、現セタティラート病院の放射線科には既存の超音波診断装置が1台あるが、移設後の配置については問題があると判断されたため、新セタティラート病院においては配置を見直し、生理検査室に1台配置する計画である。

臨床検査室は、血液検査室、生化学検査室、微生物検査室、病理検査室があり、それぞれに必要な機材を配置するが、既存機材で継続使用が可能な顕微鏡や遠心分離器などは移設する計画である。

しかし、診断機能を回復するため、蛍光顕微鏡、血球計数装置等を更新する計画である。これらの機材はヴィエンチャン市内にメーカー代理店が存在するため、定期的なメンテナンスや、試薬、消耗品等の調達等については何ら問題無いものと考えられる。

生理検査室は、現セタティラート病院においては放射線科や内科等に含まれていた機能であるが、既存組織では非効率的であるため、新セタティラート病院では他部門から分離独立させる計画となっている。同部門では放射線科より既存の超音波診断装置を移設し、心電計を1台配置する。

現セタティラート病院における薬局は、いくつかの場所に分散しており、非効率的な配置となっている。このため新セタティラート病院ではこれを統一した部屋を設置する計画である。機材は電子天秤、保冷库、薬品戸棚等を配置する。

d. 入院病棟

病棟は内科病棟、外科病棟、産婦人科病棟、小児科病棟があり、それぞれの部屋に適した患者用ベッド及びベッドサイドキャビネットを配置する。患者用ベッドの仕様は基本的に1クランクとするが、ICU用及び個室用には2クランクを採用する。

e. 管理部門

管理部門では霊安室も管理しており、解剖台及びその関連施設は、運営維持管理体制に問題があるため、これを削除する。ただし、遺体冷蔵庫については、高温多湿の現地の気候と遺体の保管日数が4~5日と日本に比較して長いことから、4体用を配置する計画とした。視聴覚機器やメンテナンス用工具類については、現地側にて対応可能と判断されたため、これを削除した。

2) 技術的、財務的自立発展性の確保が可能な機材計画策定

機材計画は、技術的、財務的自立発展性の確保が可能であることを前提条件とする。具体的には、既存機材の更新および数量不足機材の補充に限定することによって、現状の運営維持管理体制及び予算に対する負担を極力低減する内容とする。

また、これに関連して機材調達計画はヴィエンチャン市内または隣国のタイ、ベトナム等にメーカー代理店を持つメーカーを優先的に採用する計画を策定する。特に臨床検査用機器において、日常的に保守点検を必要とするような機器は、第三国製品調達も考慮する内容とする。

3) 現セタティラート病院の本来の機能を回復するための機材計画策定

現セタティラート病院は、マホソット病院、友好病院との間で明確な機能分担がなされておらず、運営維持管理体制及び予算等については、他の施設とは格差があることが現地調査において確認された。また施設設備や医療機材の老朽化等によって、本来果たすべき機能についても支障をきたしている状態である。

よって、機材計画策定については、第三次医療レベルや、他の医療施設との機能分担、役割分担より以前に、第二次レベルの総合病院としての機能を回復することを前提とした機材計画を策定する方針である。

3-3-2 基本計画

(1) 計画施設構成

本計画は建設予定地の気候、形状から判断して東西を軸とする北棟と南棟の2棟を並列させる平面形とする。患者に対する利便性および運用の効率性を考慮し、2階建てとし、必要諸室を機能よく配置する。機械室棟は両棟へのサービスが行いやすい中央に配置する。各階の施設構成は表3-9のとおりである。

表3-9 施設構成

棟	構成内容
北棟1階	外来、中央診療（検査）部門 （受付、診察室、処置室、救急処置室、救急病室、検査室、X線室等）
北棟2階	管理部門 （講堂、事務室、院長室等）
南棟1階	中央診療（手術・分娩）、病棟部門 （薬局、中央材料室、手術室、分娩室、病室等）
南棟2階	病棟部門 （病室等）
機械室棟	管理（サービス）部門 （機械室、厨房、食堂、霊安室等）

(2) 施設・規模の設定基準

本計画の施設規模の設定にあたっては、現セタティラート病院の機能を十分分析し、日本の医療施設床面積基準値（日本建築学会資料集成他）を参考にして、且つ必要機材のレイアウトをも考慮して各諸室の規模を表3-10のとおり設定する。

表3-10 室名リスト(1)

NO.	室名	室数	計算面積 m ² /室	設定基準・備考
	[北棟]			
	医事	1	21.00	受付窓口、交換含む
	病歴室	1	21.00	
	管理室	1	15.00	休憩・仮眠室含む
	救急受付	1	9.00	
	準備室(1)	1	27.00	
	救急処置室	1	22.20	処置台2台
	カルテ庫	1	14.40	
	小外科室	1	26.00	4.0m×6.5m=24.0m ²
	救急病室	1	43.20	7床
	暗室(1)	1	7.80	
	血液・生化学検査室	1	35.40	
	細菌・病理検査室	1	21.60	
	洗浄室(1)	1	12.32	
	倉庫(1)	1	12.32	
	生理検査室	1	23.70	心電図検査・超音波検査
	倉庫(2)	1	23.40	
	操作室	1	28.40	受付窓口含む
	X線検査室	1	25.85	検査台2台
	便所(1)	1	2.50	X線検査室用
	暗室(2)	1	6.25	
	リハビリテーションルーム	1	39.60	5.5m×7.2m=36m ²
	ワークショップ(医療機材)	1	24.64	職員ロッカー一室・倉庫兼用
	皮膚科診察室	1	12.48	2.4m×5.2m=12.48m ²
	呼吸器科診察室	1	12.48	2.4m×5.2m=12.48m ²
	待合室	1	9.60	皮膚科、呼吸器科専用
	眼科処置室	1	13.20	2.4m×5.5m=13.2m ²
	眼科診察室	1	16.56	2.4m×5.2m=12.48m ²
	外科診察室	1	12.48	2.4m×5.2m=12.48m ²
	技工室	1	5.76	
	歯科処置室	1	18.24	処置台2台
	耳鼻科処置室	1	12.48	2.4m×5.2m=12.48m ²
	内科診察室(1)~(5)	5	12.48	2.4m×5.2m=12.48m ²
	小児科診察室(1), (2)	2	12.48	2.4m×5.2m=12.48m ²
	MCH診察室(1)~(3)	3	12.48	2.4m×5.2m=12.48m ²
	MCH内診室	1	12.48	2.4m×5.2m=12.48m ²
	婦人科診察室	1	12.48	2.4m×5.2m=12.48m ² (内診台含む)
	中待ち廊下	1	81.60	受付含む
	医療相談室	1	16.80	3m×5.6m=16.8m ²
	ギプス室	1	16.80	3m×5.6m=16.8m ²
	処置室(1), (2)	2	16.80	3m×5.6m=16.8m ² 処置台2台
	便所(2), (3)	2	33.60	男:大便器2小便器3洗面3 女:便器3洗面4
	EPS(1)	1	1.50	
	エントランスホール	1	230.40	総合待合
	待合ホール	1	194.40	診察待合 付き添い家族が多いため広くとる
	廊下(1)~(4)	4	43.48	ストレッチャー通過可能幅2.4m確保
	階段(1)	1	9.00	
	階段(2)	1	9.60	
	スロープ(1)	1	162.00	ストレッチャー搬送等
	1階北棟合計		1722.44	

表3-10 室名リスト(2)

NO.	室名	室数	計算面積 m ² /室	設定基準・備考
	[南棟]			
	薬局	1	21.00	小規模調剤+カウンター
	薬剤庫	1	15.00	
	倉庫(3)	1	8.75	パスルーム
	倉庫(4)	1	18.00	
	C.S.S.D.	1	29.10	
	洗浄室(2)	1	16.20	
	ナースステーション(1)	1	7.20	
	前室	1	7.80	
	準備室(2)	1	31.20	
	手術室(1)	1	33.60	手術台1台
	手術室(2)	1	33.60	手術台1台
	供給廊下	1	9.60	
	AC	1	4.00	
	術後観察室	1	43.20	8床
	I.C.U.	1	86.40	14床(廊下含む)
	P.I.C.U.	1	43.20	6m×7.2m=43.2m ² 8床
	N.I.C.U.	1	21.60	3m×7.2m=21.6m ² 6床
	準備室(3)	1	16.20	
	分娩室(1)	1	13.50	分娩台1台
	分娩室(2)	1	13.50	分娩台1台
	陣痛室	1	25.20	3.5m×7.2m=25.2m ² 4床
	新生児室	1	18.00	
	ナースステーション(2)	1	48.00	
	休憩室(1)	1	8.40	
	カンファレンス(1)	1	8.40	
	便所(4), (5)	2	2.30	ICU等患者用
	汚物処理室(1)	1	1.00	
	機材庫(2)	1	5.60	
	更衣室(1), (2)	2	12.60	トイレ、シャワー含む
	病室(1)	1	19.05	個室(洗面、トイレ、シャワー含む)
	病室(2)	1	19.80	個室(洗面、トイレ、シャワー含む)
	病室(3), (4)	2	43.20	6m×7.2m=43.2m ² 小児用10床室
	病室(5), (6)	2	19.80	個室(洗面、トイレ、シャワー含む)
	病室(7), (8)	2	43.20	6m×7.2m=43.2m ² 8床室
	病室(9)~(11)	3	19.80	個室(洗面、トイレ、シャワー含む)
	病室(12)	1	21.60	隔離病室(個室)
	ナースステーション(3)	1	33.60	
	処置室(3)	1	8.40	
	休憩室(2)	1	8.40	
	便所(6)	2	3.15	職員用便所
	汚物処理室(2)	1	2.10	
	シャワールーム(1), (2)	2	4.20	
	便所(7)	2	12.60	男:大便器2小便器3洗面2 女:便器3洗面3
	EPS(2)	1	1.50	
	倉庫(5)	1	3.00	リネン倉庫
	倉庫(6), (7)	2	1.80	リネン倉庫
	倉庫(8), (9)	2	3.60	リネン倉庫
	ホール	1	135.84	
	廊下(5)	1	47.96	ストレッチャー通過可能幅2.4m確保
	廊下(6), (7)	2	43.48	ストレッチャー通過可能幅2.4m確保
	階段(3)	1	9.00	
	階段(4)	1	9.60	
	1階南棟合計		1346.36	

表3-10 室名リスト(3)

NO.	室名	室数	計算面積 m ² /室	設定基準・備考
	[北棟]			
	事務室(1)	1	64.80	
	事務室(2)	1	43.20	
	託児所	1	43.20	
	当直室(1)~(6)	6	5.40	
	医局	1	108.00	3m ² /人×35人=105m ² 35人程度在室可能
	会議室(1)	1	43.20	20人収容
	図書室	1	37.20	6m×7.2m=43.2m ²
	事務室(3), (4)	2	31.20	6m×5.2m=31.2m ²
	倉庫(1)	1	15.60	6m×5.2m=31.2m ²
	院長室	1	15.60	6m×5.2m=31.2m ²
	事務室(5)	1	15.60	3m×5.2m=15.6m ²
	副院長室(1), (2)	2	15.60	3m×5.2m=15.6m ²
	会議室(2)	1	15.60	3m×5.2m=15.6m ²
	病歴管理室	1	37.20	6m×7.2m=43.2m ²
	講堂	1	129.60	0.9m ² /人×100人=90m ² 100人収容 演台含む
	倉庫(2), (3)	2	9.72	
	パントリー	1	8.40	
	便所(1)	2	12.00	男:大便器2小便器3洗面2 女:便器2洗面3
	ロッカー室(1), (2)	2	27.16	
	シャワールーム(1), (2)	2	4.20	
	便所(2)	2	14.56	男:大便器2小便器3洗面3 女:便器3洗面4
	ラウンジ	1	151.20	食事可能スペース
	ロビー(1)	1	43.20	スタッフロビー
	EPS(1)	1	1.50	
	廊下(1), (2)	2	36.48	
	廊下(3), (4)	2	109.72	
	階段(1)	1	10.80	
	階段(2)	1	9.60	
	スロープ	1	162.00	ストレッチャー搬送等
	2階北棟合計		1509.18	
	[南棟]			
	病室(1), (22)	2	18.90	個室(洗面、トイレ、シャワー含む)
	病室(2), (21)	2	19.80	個室(洗面、トイレ、シャワー含む)
	病室(3), (4), (19), (20)	4	43.20	6m×7.2m=43.2m ² 8床室
	病室(5), (6), (17), (18)	4	19.80	個室(洗面、トイレ、シャワー含む)
	病室(7), (8), (15), (16)	4	43.20	6m×7.2m=43.2m ² 8床室
	病室(9)~(14)	6	19.80	個室(洗面、トイレ、シャワー含む)
	ナースステーション(1), (2)	2	33.60	
	処置室(1), (2)	2	8.40	
	休憩室(1), (2)	2	8.40	
	便所(4), (5)	2	3.15	職員用便所
	汚物処理室(1), (2)	2	2.10	
	シャワールーム(3)~(6)	4	4.20	
	便所(3), (6)	2	12.60	男:大便器2小便器3洗面2 女:便器3洗面3
	倉庫(2)	1	3.00	リネン倉庫
	倉庫(3), (4)	2	1.80	リネン倉庫
	倉庫(5)~(7)	3	3.60	リネン倉庫
	倉庫(8), (9)	2	1.80	リネン倉庫
	倉庫(10)	1	3.00	リネン倉庫
	EPS(2)	1	1.50	
	ロビー(2)	1	43.20	患者、患者家族ロビー
	廊下(5)~(8)	4	73.60	ストレッチャー通過可能幅2.4m確保
	階段(3)	1	10.80	
	階段(4)	1	9.60	
	2階南棟合計		1157.80	

表3-10 室名リスト(4)

NO.	室名	室数	計算面積 m ² /室	設定基準・備考
	[機械室棟] 洗濯室 スタッフ室(1) 倉庫(12) 食堂 厨房 食品庫 スタッフ室(2) 便所(8) LPG室 発電機室 ワークショップ(メンテナンス) 便所(9) 電気室 ポンプ室 医療ガス室 霊安室	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	28.38 10.50 25.92 69.12 36.00 8.80 3.60 2.16 1.28 43.20 14.40 2.88 60.48 25.92 19.44 19.44	3.6m×7.2m=25.92m ² 1m ² /人×60人=60m ² 50人程度収容 300人対応 容量200kVA 職員ロッカー一室・倉庫兼用
	機械室棟合計		371.52	
	[高置水槽] PH1階 PH2階		24.00 24.00	
	1階北棟合計 1階南棟合計 機械室棟合計 他、廊下、バルコニー等		1722.44 1346.36 371.52 776.31	
	1階合計		4216.63	
	2階北棟合計 2階南棟合計 他、廊下、バルコニー等		1509.18 1157.80 511.78	
	2階合計		3178.76	
	PH1階 PH2階		24.00 24.00	
	本体施設合計		7443.39	

3-3-3 敷地・配置計画

(1) 敷地条件

建設予定地はヴィエンチャン市中心部より約6 km南に位置しており、敷地の西側を南北に延びる基幹道路である県道5号線に接し、北側を農道に接している。敷地は道路側より中心部へ向けてなだらかな丘状になっており、敷地周辺より水はけのよい土地である。また、敷地内には樹木が多く茂っている。

(2) 配置計画

- ① 要請書添付の敷地形状は、その部分を含んで大きく拡大されて12haに及び、敷地内の不法占拠者の移転用地、及び学校移転用地を除いても約9haが病院敷地として確保されている。この敷地中央部に、前面道路に正対して病院を配置し、外周道路を巡らせる。この外周道路内を概ね本計画のプロジェクトサイトとする。
- ② 建物配置の軸は東西軸であり、遮へいの難しい太陽高度の低い朝・夕の直射日光の室内への侵入を避けるものとする。また、卓越風（南、北風）の建物への取り込みも容易となる。
- ③ 施設は大きく2棟とし、それを連絡する部分に正面性を持たせる配置とする。
- ④ 当地のセキュリティー状況を勘案すると、出来る限り出入口を絞る事が望まれる。救急部門入口もメインエントランス側とすること、サービス側入口も限定する事で、安全管理の容易な配置を考慮する。
- ⑤ 建物を敷地中央に配置することで、周囲に将来の増築用地を確保する。また、院長からの要望でもある、宿泊棟や運動場などのアメニティー施設の将来計画にも合致する。
- ⑥ 道路から十分に引きをとることで、バスやジャンボ、トゥクトゥクなど現地の交通手段の待機スペースを確保するよう配慮する。

3-3-4 建築計画

(1) 平面計画

1) 形式の検討

一般に病院機能は複雑で種々の機能が混乱なく計画される事が重要である。本計画においては、病院内各部門の機能的なつながりを念頭に、診察及び、管理研修部門、病棟及び入院治療部門、サービス及びエネルギー部門の3つにグループ化を行い、使いやすく、分かりやすい平面構成としている。熱帯モンスーン気候に適した自然通風のとりやすい形態、比較的広い敷地条件であることを考慮し、上記の3つのグループを低層のアトリウム型の病院として計画する。

2) 階層構成検討

診察及び管理研修部門で構成される棟は1階に外来診察、救急、放射線、検査等、外来患者の利用の多い諸室を配置し、2階に管理諸室と医局及び研修諸室を配置している。

病棟及び入院治療部門で構成される棟は、1階に入院治療部門とそれに関連する病棟を配置し、2階に一般病棟を配置している。

サービス及びエネルギー部門で構成される棟は、上記の2つの棟とつながりの良い位置に平屋建てで計画している。

3) 平面形状検討

エントランスを来院者にわかりやすい建物中心部分に配置し、エントランスホールに面して、医事、会計、投薬の窓口を設けている。このエントランスホールから北側に診療及び管理研修部門を（北棟）、南側に病棟及び入院治療部門（南棟）を配置している。ヴィエンチャンでは南風及び北風が卓越しており、その風を利用した自然通風と、西日を遮へいた南北からの採光を考慮し、北棟、南棟の主要諸室が南北に面した平面形状としている。

1階

北棟のエントランスに近い位置に、救急諸室を設け、救急出入口から直接建物に患者を運び込める計画である。北棟の北面は外来診療諸室で構成されており、明るく、自然換気の容易な配置である。北棟の南面は東側に検体検査室、西側に放射線室及びリハビリ室を配置しており、外来患者にとって分かりやすい構成となっている。

南棟の東側には手術室、分娩諸室、重症患者諸室等、清浄度を要求される諸室を集約して配置し、機能性を高めている。西側には産婦人科、小児科等の病棟として計画し、分娩諸室とのつながりを配慮している。

2階

2階北棟には管理諸室を集約して配置されており、院内の連携が行われやすい構成である。研修諸室は吹き抜けに面して配置され、明るく開放的な計画となっている。南棟は東西に1つずつの2看護単位で構成しており、ナースセンターからの見通しのきく計画としている。

(2) 断面計画

病棟及び外来診療諸室は主に自然換気として計画する。良好な居住性を確保するためにも十分な階高、天井高をとることによって、居室の気積を十分確保することが重要となる。

建物全体の構成では、北棟、南棟の中央部に吹き抜けを設け、通風性の良い計画としている。

1階には手術室、診断・検査諸室が配置されるため、医療機器が多く、空調が必要となり、かつ、医療機器の大きさも考慮して、階高3.9mとする。2階は主に病棟、管理諸室で構成されるため、階高を3.45mとする。

縦動線は、建物が2階建てであり、現地のメンテナンス事情を考慮して、エレベータは計画せず、寝台搬送可能なスロープを設けて対応する。一般の患者及び職員

はエントランスホール横に設けられた2つの階段を利用する。

3-3-5 構造計画

(1) 構造設計の基本方針

本計画における構造設計の基本方針は次のとおりである。

- 1) 「ラ」国には建築物の構造に関する基準がないため、日本の建築基準法及び学会規準等に準拠して設計する。ただし、地震力については過去の記録により算定すると、ヴィエンチャン周辺では無感地震となることから、日本における地震力の 1/4 に低減して設計する。また、その他の外力及び仮定荷重については、現地の気象・地理・地盤・建物用途により決定する。
- 2) 現地の建設事情を考慮し、単純かつ明快な構造形式とする。また、経済的な観点から、現地で調達できる材料をできるかぎり使用する。

(2) 構造計画

構造種別は、「ラ」国でも一般的な構造である鉄筋コンクリート造とする。構造形式は、平面的に比較的均等なスパン構成をもつ計画であり、地震力も小さいため効率の良い純ラーメン形式とする。壁は、X線防護等機能上必要な部分を除いて現地材料を用いたブリックまたはブロック壁とする。

建物全体に、現地様式を反映した屋根を計画しているが、原則的に鉄筋コンクリート造とする。

(3) 基礎計画

基礎形式は、原則として杭基礎とするが、杭の長さに関してはコストと性能のバランスを考え、慎重に検討する。ただし、重量の軽い建物については、直接基礎とすることも考慮する。杭は、現地でも実績のあるPC杭を用いる。

(4) 設計荷重

代表的な積載荷重は表3-11のように設定する。また、特殊な用途に使用される部分については実状に応じた値を採用する。

表3-11 主な積載荷重一覧

(kgf/m²)

部 屋 名	床 用	架構用	地震用
病室	180	130	60
診断室・手術室	300	180	80
エントランス・廊下	300	270	160
事務室	300	180	80
大ホール	360	330	210
倉庫	500	400	300
陸屋根	100	80	60

(5) 使用材料

本計画において使用する主要な材料は表3-12のとおりである。

表3-12 主な使用材料

コンクリート	設計規準強度 $F_c = 24 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	異形鉄筋 JIS G 3112 SD295A (D16 以下) SD345 (D19 以上) または同等品
杭	PC杭 (打撃工法)

3-3-6 設備計画

(1) 電気設備

1) 電力供給設備

本計画施設への電力は、ラオス電力公社の最寄りの変電所から、県道 5 号線沿いの架空配電線路を経由して、計画施設内電気室に 3 相 3 線 22kV 1 回線で供給される。また、本計画で必要とされる電力は、概ね 330kW と想定されるので、それに必要な変圧器、配電盤等を設け各負荷に電力を供給するものとする。

供給方式としては、「ラ」国の標準配電電圧である 3 相 4 線 380/220V を採用する。なお、季節、時間帯によっては、商用電源の電圧変動率が±10%を越す事が予想されるのが、医療機器等の精密機器保護用の自動電圧調整装置 (AVR) は、機器側で個別に対応する。また、停電頻度も平均月 1~2 回以上最大 1 時間程度と想定されるので、施設の機能を最低限維持する為に、非常電源装置としてディーゼル発電装置を設置する。なお、発電機本体および発電機室に関しては、環境に配慮して適切な遮音・防音・防振措置を施すものとする。

2) 電灯・コンセント設備

設計照度は原則としては J I S を参考にするが、「ラ」国の現況を考慮して、概ね J I S の 50~70% 程度に設定する。

使用光源には効率の良い蛍光灯を主体として計画する。また、スイッチは細かく計画して、オペレーションコストの削減を図る。

コンセントは、「ラ」国で一般的に使用されている丸形 2 ピンと平行形 2 ピンが併用できるユニバーサルタイプにアース端子を追加したものをベースに、使用機器の電源種別・容量・接続方法等を検討し、その位置・仕様を決定する。

3) 避雷・接地設備

落雷から施設を保護するために、避雷突針及び棟上導体を設ける。また、医療機器、電力機器、通信機器等には必要に応じ接地設備を設ける。

4) 電話設備

本計画施設の電話設備は、敷地東側県道 5 号線に布設予定のラオステレコムの架空幹線から計画施設内の M D F に新規に引き込む。引き込みケーブルのサイズは、将来計画を考慮して最低 30 回線程度とする。

また、本計画施設に必要とされる回線容量は、最低外線 10 回線・内線 150 回線程度であるので必要な電話交換機設備 (P A B X) を新設し、計画施設内室間および外部との連絡ができる様にする。なお、計画施設内の新設 M D F までの引き込みケーブル工事及び回線接続料等はすべて「ラ」国側の負担である。

5) 放送設備

計画施設内の守衛室に放送設備の主装置を設け、中央コントロールによる医師呼び出し等の全館放送、火災時の避難・誘導等の非常放送が可能な設備とする。また、講堂には、マイク・スピーカー等の拡声設備と簡単な映像機器を設備する。

なお、患者の受付、薬局窓口等には個別の呼び出し放送設備を考慮する。

6) テレビ共聴設備

計画施設内に共聴用アンテナを設置し、管理諸室・教育研修諸室等に取り出し口を設ける。アンテナはVHF・UHFとする。

7) インターホン設備

ナースステーションと各病室等との連絡用として、最も簡単な1室1回線のナースコール設備を設置する。また、発電機室・機械室等の連絡用としては、内線専用電話機を利用する。

8) 電池時計設備

事務室等の管理諸室および検査室等の機能目的室には、簡便な電池式時計を設ける。

9) 火災報知設備

火災通報押しボタン設備を設け、火災発見時の早期通報および被害の拡大防止を図る。原則としてヴィエンチャン市消防局の指導を遵守するが、設置基準が整備されていない部分は、日本国消防法を参考に、現地事情を加味して決定する。

(2) 機械設備

1) 給水設備

本計画に必要とされる1日当たりの給水量は、約175m³程度と想定される。市水が1998年中に供給される予定との事であるが、万一供給計画が予定どおり実施されない場合を考慮し、バックアップ用として井戸の新設を計画する。

受水槽は地上型とし、地下からの汚染防止に配慮する。また、断水時の対応から1日分の容量を確保する。

2) 排水設備

本計画施設からの排水はインフラが整備されていないために、全て本計画の中で処理する。生活排水は、浄化槽で排水処理した後に雨水と共に北側の既存水路に放流する。

3) 給湯設備

手術室、分娩室等への給湯は、経済性・保守性等を総合的に判断してシステムを決定する。本計画では、給湯の使用量及び場所の面から電気温水器による給湯システムを採用する。

4) 衛生器具設備

本計画で使用する大便器は「ラ」国の病院という性格上、洋式とアジア式便器の併用となる。また、「ラ」国の習慣から事後の水洗浄も考慮して、大便器には紙巻器と同時に水栓も併設する。

5) 医療ガス設備

本計画の酸素、吸引の供給については、安全性、操作性、保守性、院内感染の防止等の総合的な判断により、中央配管方式を採用する。また、酸素、吸引用アウトレットの必要とする部屋は以下のとおりである。

手術室、分娩室、ICU室、病棟等

酸素について、シリンダー集合装置による供給となる。

また、手術室などで必要とされる圧縮空気についても、中央式にて供給する。

6) 消火設備

原則として「ラ」国の法規を遵守するが、体系化された法規が整備されていないので、部分的には日本の法規を補完しながら計画する。本計画施設には屋内消火栓設備（ホースリール）、屋外消火栓設備、消火器を設置される。

7) 排水処理設備

生活排水の処理はいわゆる“浄化槽”によって処理する。現地事情から、可能な限り維持管理が容易でランニングコストのかからないシンプルなシステムを採用する。また、本計画施設から排出される可能性のある医療系（感染性含む）及び検査系排水は、適切な処理（滅菌、中和等）をした後浄化槽で生活排水と共に処理する。

8) 厨房設備

本計画では、市街地から離れているという敷地の特異な条件から、患者用は勿論の事、患者の付き添い及び職員用の給食サービスが必須条件である。

9) 洗濯設備

病院用リネンの洗濯設備を計画する。主な機器として、洗濯機、脱水機、乾燥機、アイロン等があげられる。

10) 焼却炉設備

医療系廃棄物処理のための焼却炉を計画する。

11) 空調設備

本計画では、清浄度が求められる手術室、分娩室、ICU室等と薬局、セミナー室等機能的に必要な部分のみ空調する。空調設備は、経済性・保守性の観点から、個別方式を採用する。

換気については、原則として自然換気とするが、臭気・蒸気・熱の発生するような部屋は機械換気とする。

3-3-7 建設資材計画

(1) 外部仕上材

1) 屋根

屋上防水は将来のメンテナンスを考慮し、ウレタン防水とする。各棟の吹き抜け部、共用部の上部は通風を考慮したルーフタイル葺きの勾配屋根とする。一部に採光を考慮したトップライトを設ける。

2) 外壁

外壁仕上はメンテナンスを考慮し、容易に手の届く範囲は耐水性の良いペイント仕上とし、手の届きにくい範囲はモルタル洗い出し仕上とする。

(2) 内部仕上材

1) 床

各診察室、処置室、病室、廊下等、汚染される恐れのある居室については、清掃が易しく清潔に保ちやすいタイル貼りとする。

2) 壁

便所等の水廻り部分で、汚染されたものが付着する可能性のある壁面、汚れやすい壁面についてはタイル貼りとし、拭き取りが容易となるよう考慮し、またそれ以上の高いところはペイント仕上とする。

3) 天井

天井部に配管、ダクト類がある部屋は隠蔽する意味で天井を設けるが、大部分の部屋は細菌等が繁殖しないようコンクリートにペイント仕上とする。

尚、現地資材については、一般に現地で入手できるものは、砂・砂利・煉瓦及び型枠・木工事・左官工事などの限られたものになる。他は近隣諸国からの輸入材となっている。

(3) 建具

ヴィエンチャンの気候に配慮し、外部建具はアルミサッシュを採用する。人の出入りの多いエントランスにおいては、耐久性のあるステンレス製とする。

内部建具は手術部門やストレッチャー等が当たる扉は堅牢さが必要であり、スチール製、軽量スチール製、またはステンレス製とする。その他の建具は木製を主に選択する。

3-3-8 機材計画

現有機材の稼動状況、要請内容の検討、医療機材の選定基準および設計方針にそって策定された機材計画は「表3-13 計画機材リスト」のとおりである。

表3-13 計画機材リスト(1)

整理番号	機材番号	コード番号	部門	機材名	計画数
1	IC-A-1	2	ICU	ベッド(ICU用)	14
2	IC-A-2	51		吸引器	1
3	IC-A-3	82		除細動機(カート付)	1
4	IC-A-4	85		シリンジポンプ	1
5	IC-A-5	86		人工呼吸器	2
6	IC-A-6	93		患者監視装置	7
7	IC-A-7	110		超音波ネブライザー(カート付)	2
8	IC-A-8	162		輸液ポンプ	4
9	NI-A-1	11	NICU	インファントウォーマ	2
10	NI-A-2	67		光線治療器	2
11	NI-A-3	79		シャーカステンA	1
12	NI-A-4	85		シリンジポンプ	1
13	NI-A-5	87		人工呼吸器(小児用)	1
14	NI-A-6	93		患者監視装置	2
15	NI-A-7	102		蘇生器セット	1
16	NI-A-8	145		保育器	3
17	NI-A-9	162		輸液ポンプ	1
18	NP-A-1	27	NICU/PICU(NS3)	器械戸棚	1
19	NP-A-2	74		持続吸引装置	1
20	PI-A-1	2	PICU	ベッド(ICU用)	8
21	PI-A-2	85		シリンジポンプ	1
22	PI-A-3	87		人工呼吸器(小児用)	1
23	PI-A-4	93		患者監視装置	2
24	PI-A-5	162		輸液ポンプ	4
25	OB-A-1	7	分娩室	椅子(手術用)	2
26	OB-A-2	51		吸引器	1
27	OB-A-3	52		吸引分娩器	1
28	OB-A-4	95		ストレッチャー	4
29	OB-A-5	104		体重計(新生児用)	2
30	OB-A-6	115		手洗滅菌器(壁掛型)	1
31	OB-A-7	117		電気メス	1
32	OB-A-8	130		踏台(2段)	2
33	OB-A-9	135		分娩台	2
34	OB-A-10	143		ベビーコット	6
35	OB-A-11	152		麻酔器	1
36	OB-A-12	155		無影灯(床置型)	1
37	OB-A-13	156		無影灯(天吊型)	1
38	OB-A-14	162		輸液ポンプ	2
39	EM-A-1	6	救急	椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	4
40	EM-A-2	7		椅子(手術用)	1
41	EM-A-3	24		器械台	2
42	EM-A-4	27		器械戸棚	2
43	EM-A-5	51		吸引器	1
44	EM-A-6	78		シャーカステンB	2
45	EM-A-7	80		手術台(汎用型)	1
46	EM-A-8	82		除細動機(カート付)	1
47	EM-A-9	93		患者監視装置	1
48	EM-A-10	95		ストレッチャー	2
49	EM-A-11	96		スポットライト	2
50	EM-A-12	113		手洗台	2
51	EM-A-13	114		手洗滅菌器(壁掛型)	1
52	EM-A-14	117		電気メス	1
53	EM-A-15	138		ベッド(ギャッチ)	7
54	EM-A-16	152		麻酔器	1

表3-13 計画機材リスト(2)

整理番号	機材番号	コード番号	部門	機材名	計画数
55	EM-A-17	156		無影灯(天吊型)	1
56	EM-A-18	162		輸液ポンプ	2
57	OT-A-1	7	手術	椅子(手術用)	2
58	OT-A-2	24		器械台	2
59	OT-A-3	51		吸引器	2
60	OT-A-4	63		高圧蒸気滅菌機	2
61	OT-A-5	80		手術台(汎用型)	2
62	OT-A-6	82		除細動機(カト付)	1
63	OT-A-7	93		患者監視装置	2
64	OT-A-8	95		ストレッチャー	2
65	OT-A-9	115		手洗滅菌器(壁掛型)	1
66	OT-A-10	117		電気メス	2
67	OT-A-11	138		ベッド(ギャッチ)	8
68	OT-A-12	152		麻酔器	1
69	OT-A-13	162		輸液ポンプ	4
70	PH-A-1	6	薬局	椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	2
71	PH-A-2	118		電子天秤	1
72	PH-A-3	149		保冷庫(200リットル)	1
73	PH-A-4	160		薬品戸棚	2
74	IN-A-1	4	内科	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	5
75	IN-A-2	6		椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	5
76	IN-A-3	78		シャーカステンB	5
77	IN-A-4	88		診察台	5
78	IN-A-5	112		机(診察用、片袖型)	5
79	SG-A-1	4	外科	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	1
80	SG-A-2	6		椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	1
81	SG-A-3	34		器具セット(ギブス用)	1
82	SG-A-4	49		ギブス台	1
83	SG-A-5	78		シャーカステンB	1
84	SG-A-6	88		診察台	1
85	SG-A-7	112		机(診察用、片袖型)	1
86	SG-A-8	131		踏台(1段)	1
87	DM-A-1	4	皮膚科	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	1
88	DM-A-2	6		椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	1
89	DM-A-3	78		シャーカステンB	1
90	DM-A-4	88		診察台	1
91	DM-A-5	112		机(診察用、片袖型)	1
92	PN-A-1	4	呼吸器科	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	1
93	PN-A-2	6		椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	1
94	PN-A-3	62		呼吸器分析装置	1
95	PN-A-4	78		シャーカステンB	1
96	PN-A-5	88		診察台	1
97	PN-A-6	112		机(診察用、片袖型)	1
98	EY-A-1	4	眼科	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	1
99	EY-A-2	6		椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	1
100	EY-A-3	112		机(診察用、片袖型)	1
101	DN-A-1	4	歯科	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	1
102	DN-A-2	12		X線装置(歯科用)	1
103	DN-A-3	16		遠心鑄造器	1
104	DN-A-4	73		歯科ユニット	2
105	DN-A-5	112		机(診察用、片袖型)	1
106	DN-A-6	132		フラスコプレス	1
107	DN-A-7	159		モデルトリマー	1
108	DN-A-8	165		ラボ用マイクロモータ	1

表3-13 計画機材リスト(3)

整理 番号	機材 番号	J-ド 番号	部門	機材名	計画数
109	DN-A-9	165		ラボ用レース	1
110	EN-A-1	4	耳鼻咽喉科	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	1
111	EN-A-2	77		耳鼻咽喉科診察ユニット(診察椅子含む)	1
112	EN-A-3	112		机(診察用、片袖型)	1
113	PD-A-1	4	小児科	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	2
114	PD-A-2	6		椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	2
115	PD-A-3	78		シャーカステンB	2
116	PD-A-4	88		診察台	2
117	PD-A-5	105		体重計(乳幼児用)	1
118	PD-A-6	112		机(診察用、片袖型)	2
119	GY-A-1	4	婦人科	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	1
120	GY-A-2	6		椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	1
121	GY-A-3	24		器械台	1
122	GY-A-4	27		器械戸棚	1
123	GY-A-5	78		シャーカステンB	1
124	GY-A-6	88		診察台	1
125	GY-A-7	89		診察ユニット(産婦人科用)	1
126	GY-A-8	109		超音波診断装置	1
127	GY-A-9	112		机(診察用、片袖型)	1
128	GY-A-10	124		内診台	1
129	GY-A-11	130		踏台(2段)	1
130	MC-A-1	4	MCH	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	3
131	MC-A-2	6		椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	3
132	MC-A-3	24		器械台	1
133	MC-A-4	27		器械戸棚	1
134	MC-A-5	78		シャーカステンB	3
135	MC-A-6	88		診察台	3
136	MC-A-7	89		診察ユニット(産婦人科用)	1
137	MC-A-8	112		机(診察用、片袖型)	3
138	MC-A-9	124		内診台	1
139	MC-A-10	130		踏台(2段)	1
140	CO-A-1	6	共通(処置室)	椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	14
141	CO-A-2	24		器械台	5
142	CO-A-3	27		器械戸棚	5
143	CO-A-4	88		診察台	7
144	RE-A-1	4	放射線科	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	1
145	RE-A-2	13		X線透視撮影装置(近接型)	1
146	RE-A-3	30		器具セット(X線用)	1
147	RE-A-4	31		器具セット(暗室用)	1
148	RE-A-5	78		シャーカステンB	2
149	RE-A-6	112		机(診察用、片袖型)	1
150	GY-A-1	4	理学療法科	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	1
151	GY-A-2	19		オーバーヘッドフレーム	1
152	GY-A-3	57		車椅子	1
153	GY-A-4	112		机(診察用、片袖型)	1
154	GY-A-5	136		平行棒	1
155	PY-A-1	4	生理検査	椅子(医師診察用、背もたれ付、肘無し)	1
156	PY-A-2	6		椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	1
157	PY-A-3	88		診察台	2
158	PY-A-4	92		心電計(カート付)	1
159	PY-A-5	112		机(診察用、片袖型)	1
160	LB-A-1	3	臨床検査	PHメータ	1
161	LB-A-2	6		椅子(患者、スタッフ用丸椅子)	5
162	LB-A-3	15		炎光光度計	1

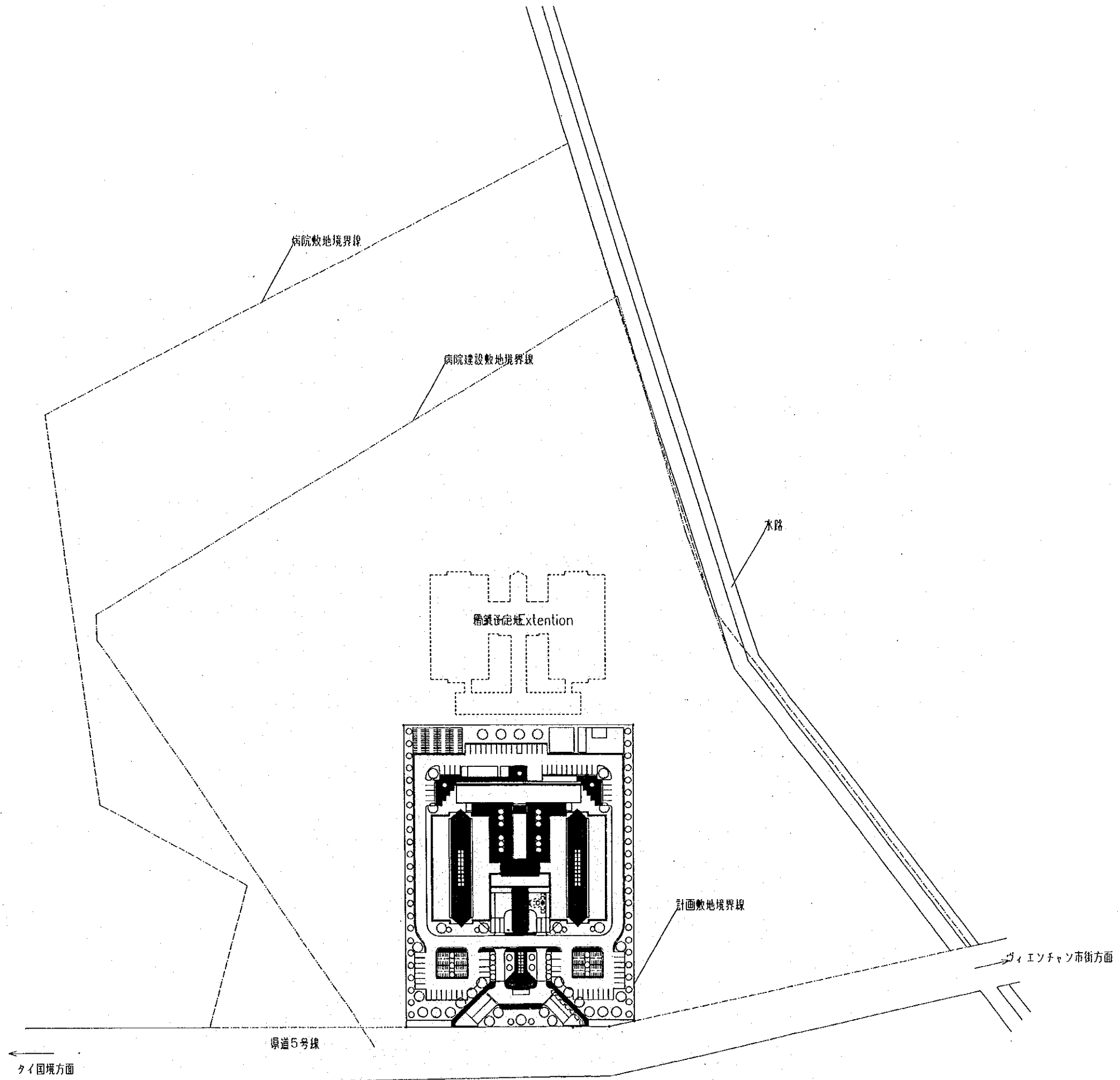
表3-13 計画機材リスト(4)

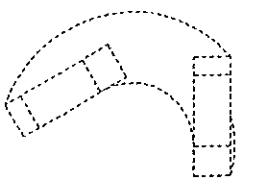
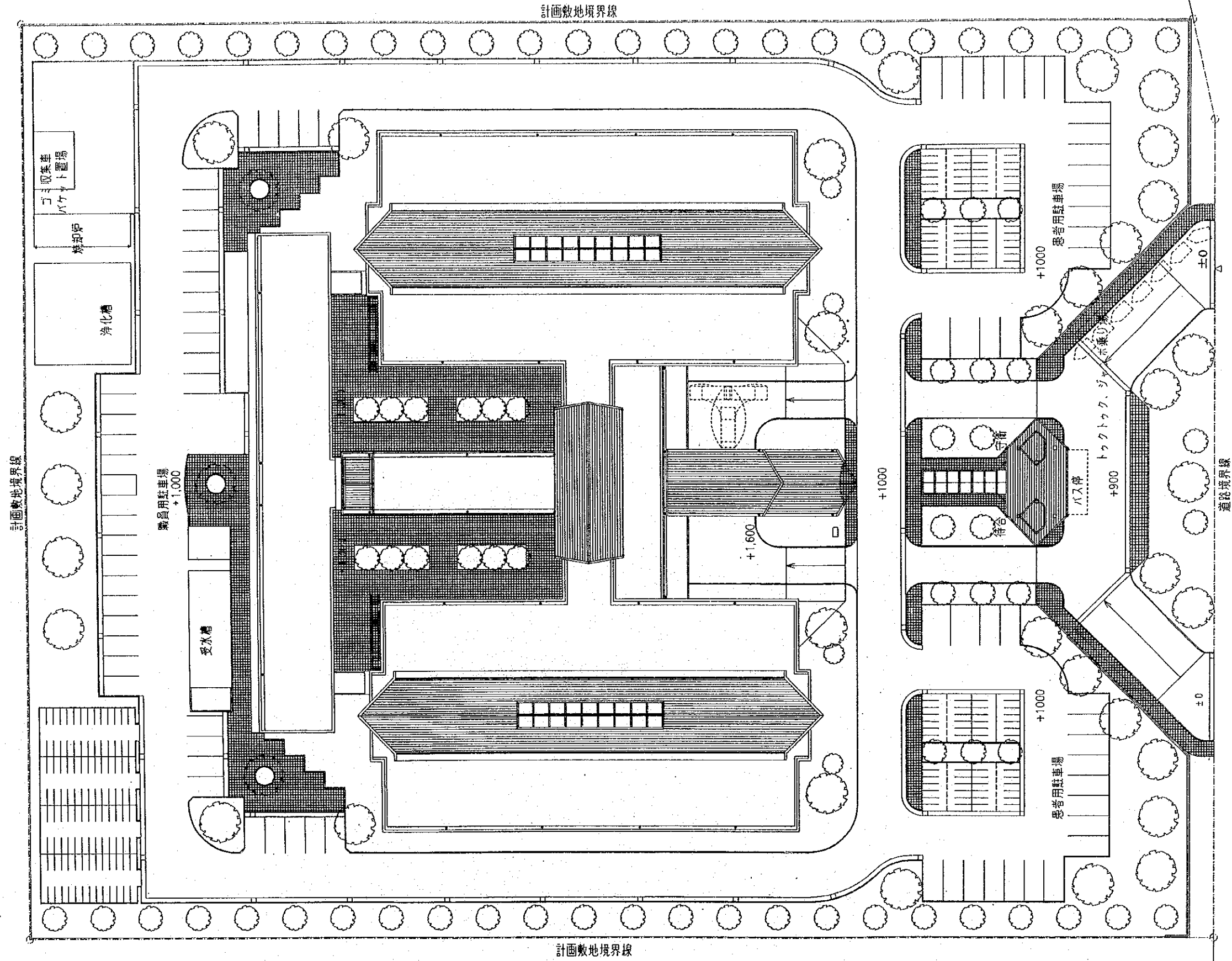
整理番号	機材番号	コード番号	部門	機材名	計画数
163	LB-A-4	17		遠心分離器	1
164	LB-A-5	55		クリーンベンチ	1
165	LB-A-6	58		蛍光顕微鏡	1
166	LB-A-7	64		高圧蒸気滅菌器(縦型)	1
167	LB-A-8	65		恒温乾燥器	1
168	LB-A-9	66		恒温槽	1
169	LB-A-10	76		自動血球計数装置	1
170	LB-A-11	81		純水製造装置	1
171	LB-A-12	100		双眼顕微鏡	2
172	LB-A-13	118		電子天秤	1
173	LB-A-14	133		フラン器	1
174	LB-A-15	134		分光光度計	1
175	LB-A-16	144		ヘマトクリット遠心分離器	1
176	LB-A-17	149		保冷庫(200リットル)	1
177	LB-A-18	147		保冷庫(血液用)	1
178	LB-A-19	169		冷凍庫(-40度、130リットル)	1
179	WD-A-1	18	病室	オーバーベッドテーブル	22
180	WD-A-2	137		ベッド(患者用)	80
181	WD-A-3	137 b		ベッド(小児患者用)	20
182	WD-A-4	138		ベッド(ギヤッチ)	22
183	WD-A-5	141		ベッドサイドキャビネット	122
184	WS-A-1	10	管理	遺体冷蔵庫	1

3-3-9 基本設計図

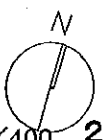
表3-14 図面リスト

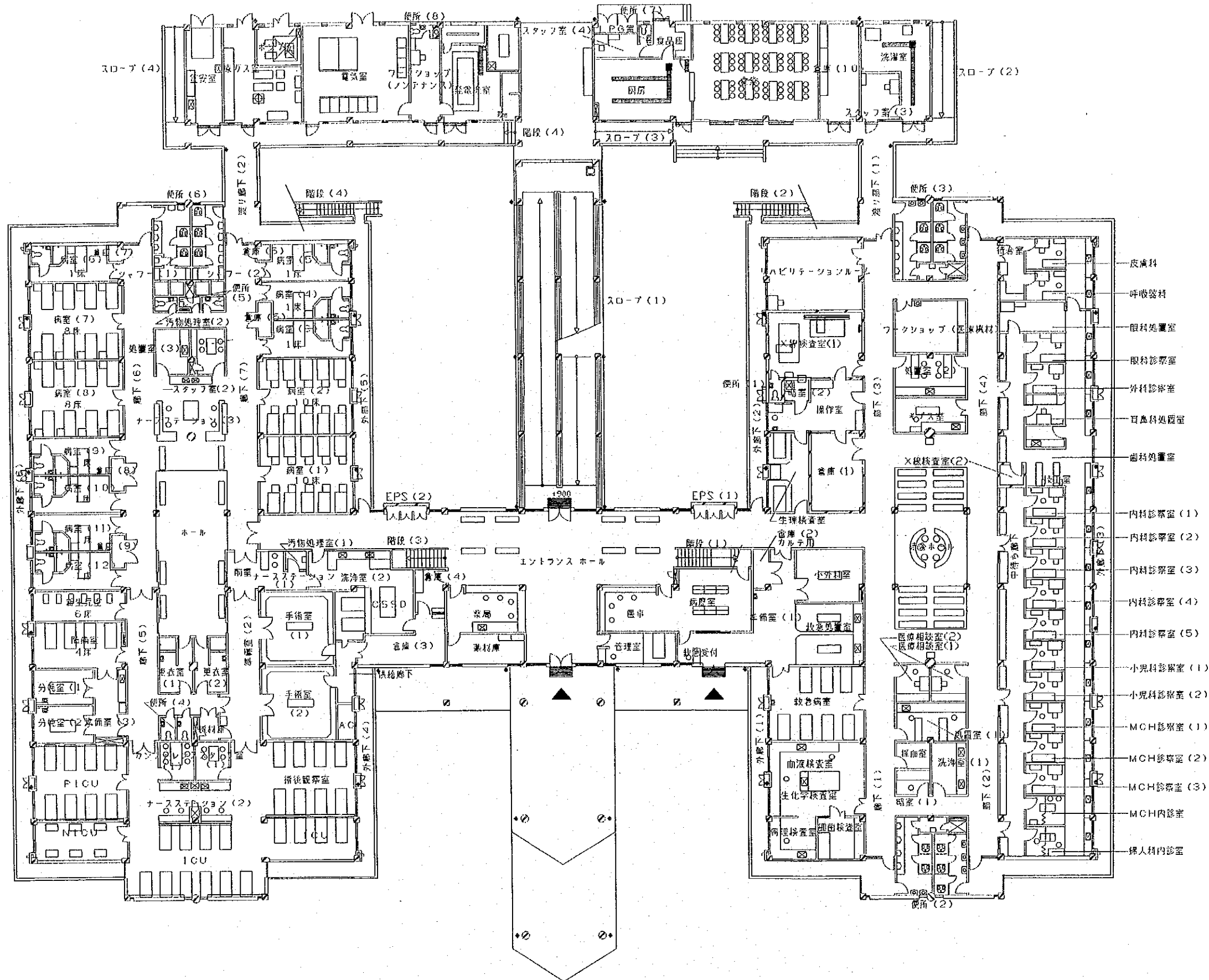
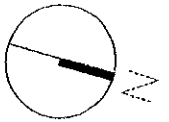
図面番号	図面名称	縮尺
1	病院敷地配置図	1/2,000
2	配置図	1/500
3	1階平面図	1/300
4	2階平面図	1/300
5	立面図	1/400
6	断面図	1/400



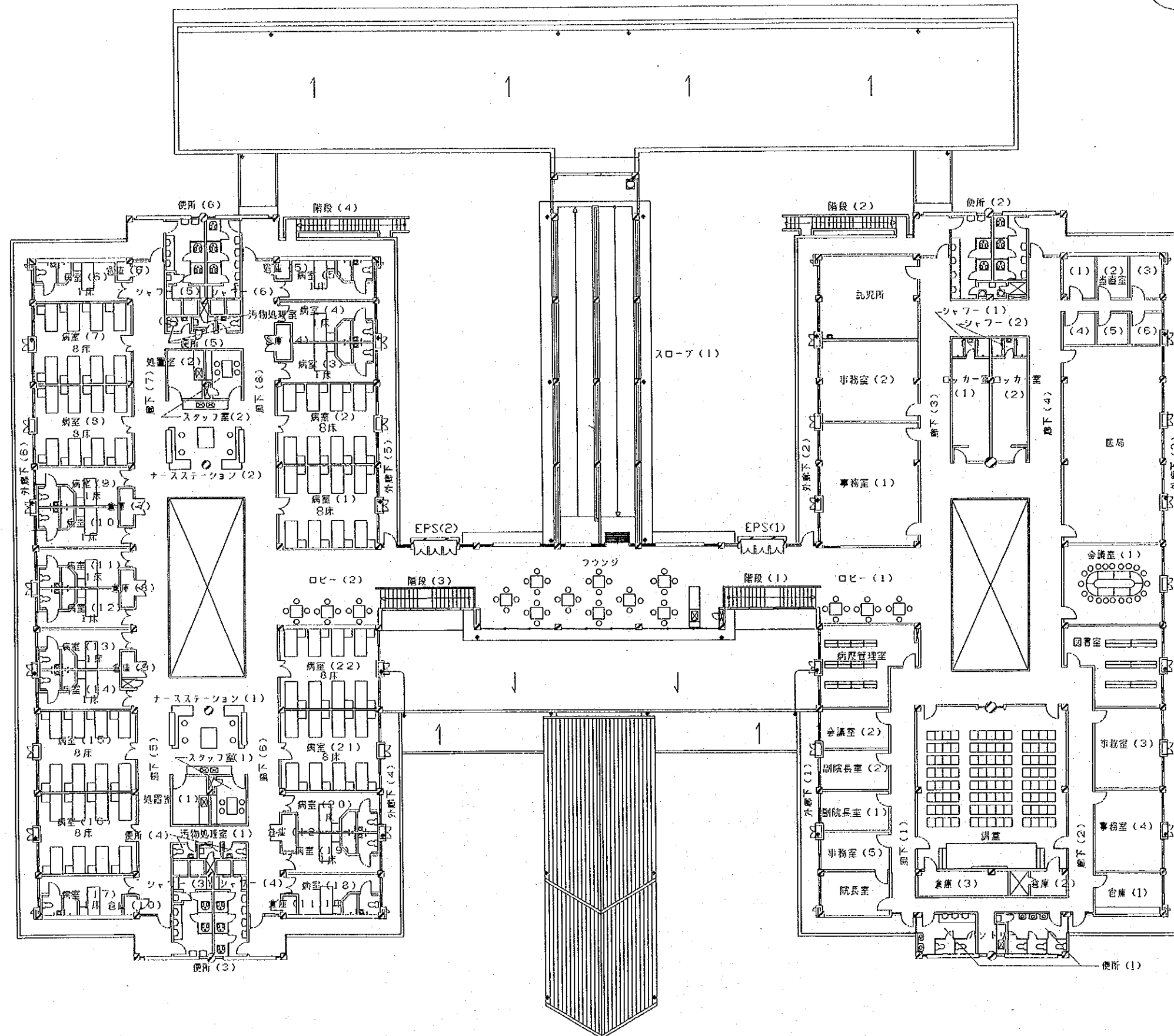
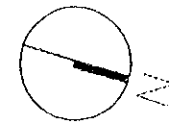


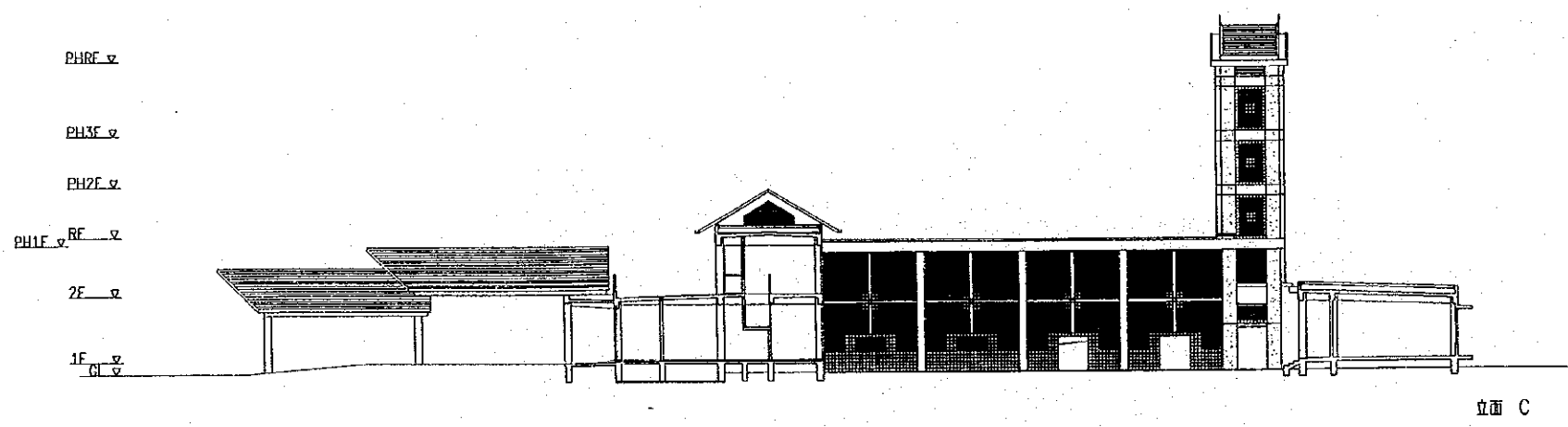
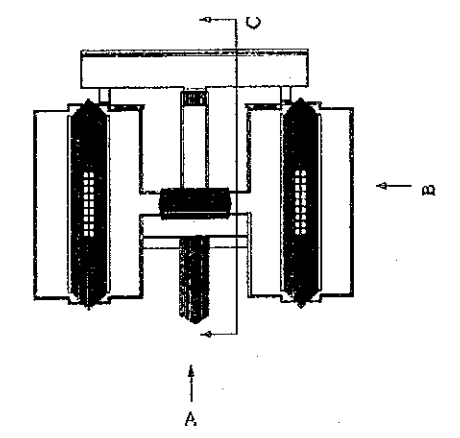
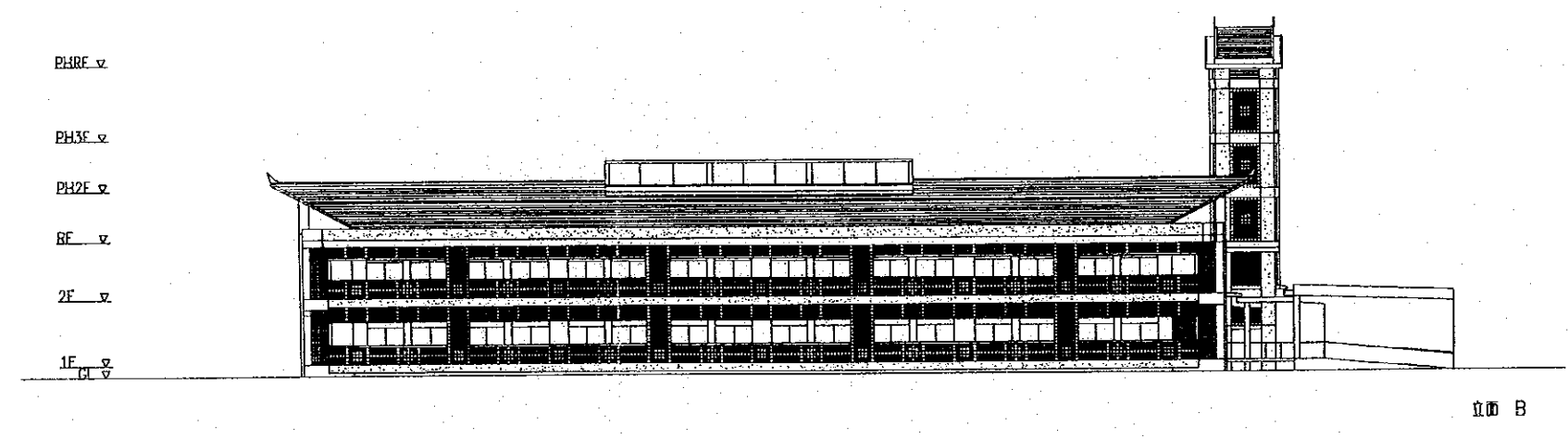
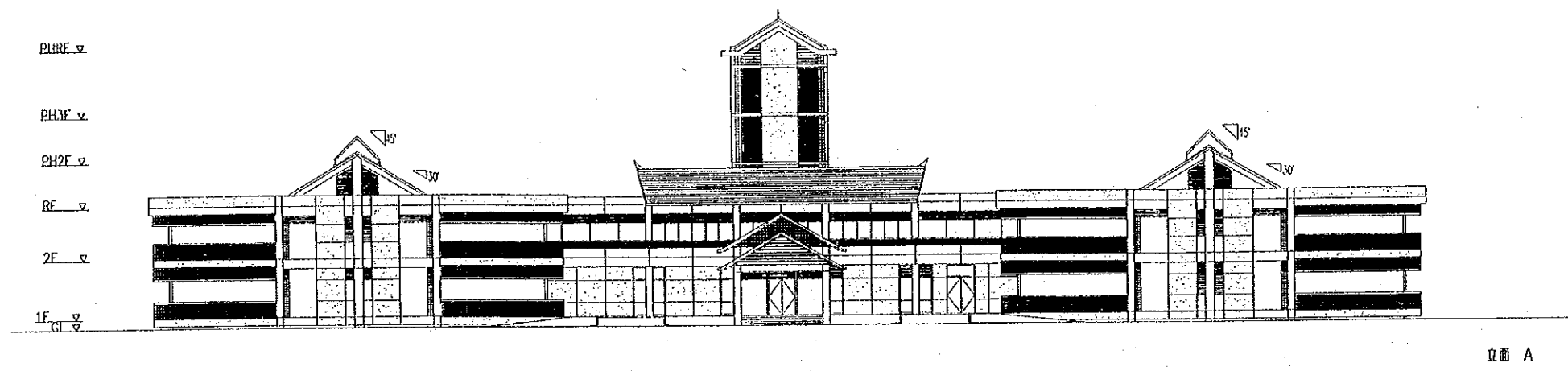
県道5号線

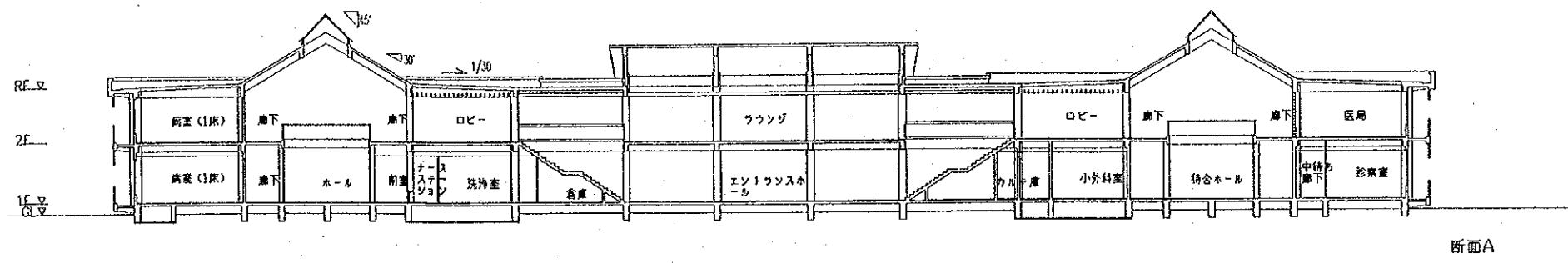




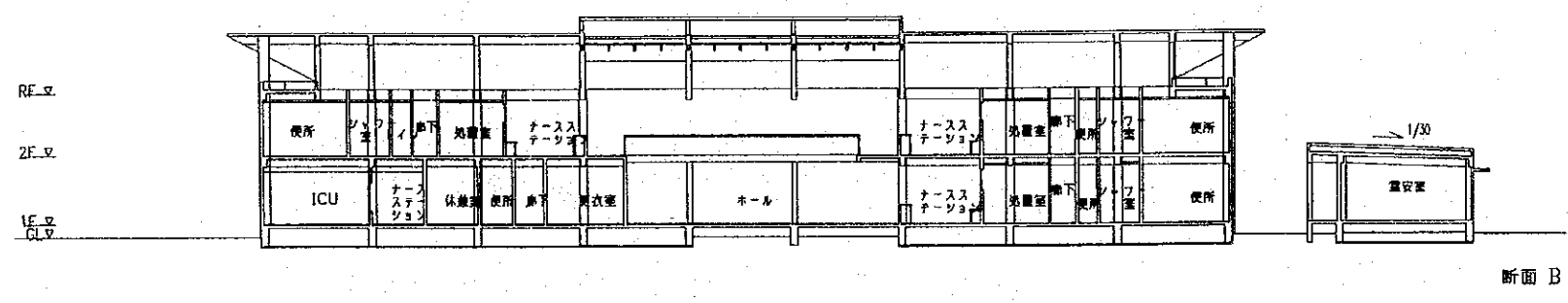
ラオス国 新セタテライト病院 1階平面図 1/300 3



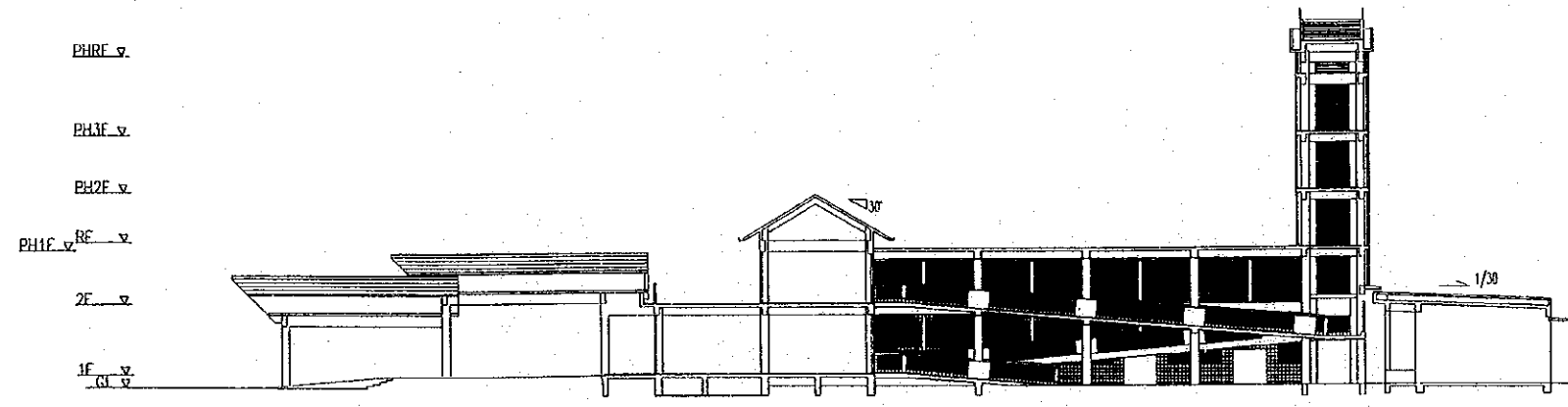
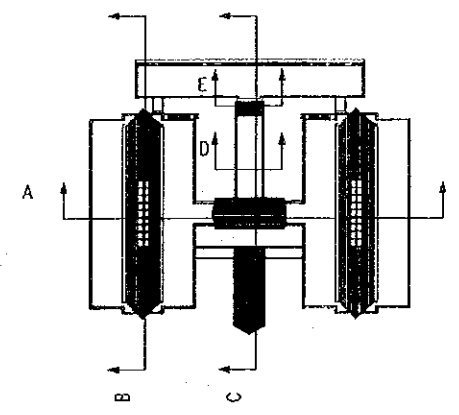




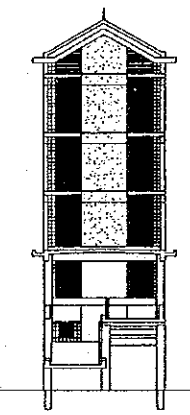
断面A



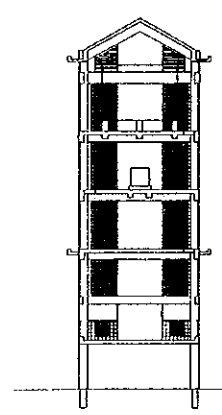
断面 B



断面 C



断面 D



断面 E

